

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-102	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条第1号「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。」に留意した点

- ・世界史の大きな枠組みと展開を理解・考察できるように、本文はやや詳しい事項は省き叙述する一方、「人物コラム」や「探究しよう」などの囲み記事を設け、「幅広い知識と教養を身に付ける」ことができるよう留意した。
- ・学習指導要領に沿って、部扉ではその時代の「観点」を示して学習の動機付けにすると共に、構造的な理解につながるよう留意した。
- ・巻頭付録では2・8・13・16・19世紀の世界を取り上げ、同時代の特徴を概観できるようにした。
- ・各章・各節に問いを設けることで学習の目的を明確にし、要点を押さえられるようにした。また生徒の興味・関心を引き出す図版を豊富に掲載し、読み解きを促す問いを設けた。節末には視点を変えた問いをさらに設け、これら一連の活動により「真理を求める態度を養う」ことができるよう留意した。
- ・「探究しよう」では当時の人々の考えを示す複数の資料を取り上げ、多面的・多角的に読み解く活動を通して「真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う」ことができるよう留意した。

教育基本法第2条第2号「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。」に留意した点

- ・生徒が主体的に学習できるよう様々な問いを設定した。節末の問いでは「あなたは…どう考えるか」など、生徒自身が根拠に基づいて自分なりの考えを表現できるよう問いを工夫することで、「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことができるよう留意した。
- ・「人物コラム」では、性格やエピソードも交えて個人が歴史に及ぼした影響を考えられるようにした。
- ・第I部を通して身分や生業について記述し、産業革命期の労働者と生活、日本における男女雇用機会均等法などの女性の権利拡大などの歴史的経緯を学ぶことによって「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」ができるよう留意した。

教育基本法第2条第3号「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点

- ・国際連盟や国際連合の機能とその課題、地域紛争が多発する現代における国際連合の役割と安全保障の問題などの事例を通して、「正義と責任」について考察できるよう留意した。「男女の平等、自他の敬愛と協力」については、各資料からジェンダーについて課題を追究する活動を通して考察できるよう留意した。
- ・第19章の結びの記述では、多極化の時代における国連の役割、国際協力における非政府組織や自治体の役割、感染症や災害に対しては国家や地域を越えた協力の重要性について述べ、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」ができるよう留意した。

教育基本法第2条第4号「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」に留意した点

- ・「世界史へのまなざし① 地球環境からみる人類の歴史」において、気候変動などが人類に与える影響について事例とともに記述し、自然環境の変化に対する問題意識が高まるように留意した。
- ・近代化による人口増加や経済成長がもたらす環境汚染、原子力発電所事故が環境に与える影響などを記述し「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」ができるよう留意した。

教育基本法第2条第5号「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点

- ・世界の歴史を通して、日本と世界の国々の政治・経済・社会・文化あるいはそれらの相互作用について理解を深められるよう留意した。国際社会のなかで生きる市民としての自覚を促し、様々な課題とその解決について主体的に考察できるよう、豊富な資料や問いを設定した。これら一連の活動を通して「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」ができるよう留意した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
2世紀の世界、8世紀の世界、 13世紀の世界、16世紀の世界、 19世紀の世界 世界史へのまなざし① 地球環境からみる人類の歴史 自然環境と人類の進化	*「〇世紀の世界」では各世紀の地図を開き大きく扱い、図版と解説を付して特徴を捉え、概観できるようにした(第1号)。	p.4~13
世界史へのまなざし② 日常生活からみる世界の歴史 料理からみる世界のつながり	*「世界史へのまなざし①」では、地球の歴史と人類の歴史の時間の尺度の違いについて問いを元に考察したり、地球環境が人間の歴史に及ぼす影響について理解し、環境問題について課題意識を持つようにした	p.14~17

<p>ミュージアムの歴史 家族の歴史</p>	<p>(第4号)。 *「世界史へのまなざし②」では、それぞれ日本と世界の「料理」「ミュージアム」「家族」を取り上げ、各種資料を活用し、身近な事象が世界の歴史とつながっていることに気づくようにした(第1号)(第5号)。「家族」ではジェンダー=ギャップ指数などを示し、現代における課題に気づくようにした(第3号)。</p>	<p>p.18～24</p>
<p>第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第Ⅰ部へのアプローチ 第1章 文明の成立と古代文明的特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 遊牧民族の活動と中国の分裂 4 東アジア文化圏の形成 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開 第4章 西アジアと地中海周辺の世界形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア世界 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 イスラーム教とカリフ政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成</p>	<p>*第Ⅰ部へのアプローチでは、ウルのスタンダードの読み解きを通して、王権や身分などの古代の歴史的特質に気づき、生徒自ら疑問点などを表現できるようにした(第2号)。 *第1章の「探究しよう」ではハンムラビ法典の資料を探究して、身分による刑罰の違いに気づくようにした(第3号)。 *第2章の「探究しよう」では唐代の貴族の女性について探究し、時代によって女性の活動の様子が異なることに気づくようにした(第3号)。 *第3章の「探究しよう」ではヒンドゥー教について探究し、他国の宗教・文化について見識を深められるようにした(第5号)。 *世界史のなかで日本と近隣諸国の関わりや文化の伝播について理解できるよう叙述した(第5号)。</p>	<p>p.26～27 p.31 p.54 p.59 p.49、53、64、76</p>
<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第Ⅱ部へのアプローチ 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p>	<p>*第Ⅱ部へのアプローチでは、活発な都市の様子を読み取る活動を通して、諸地域の交流の広がりについて生徒自ら疑問点など</p>	<p>p.92～93</p>

<p>1 イスラーム教の諸地域への伝播</p> <p>2 西アジアのイスラーム諸政権</p> <p>第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>1 西ヨーロッパの封建社会</p> <p>2 東ヨーロッパ世界</p> <p>3 西ヨーロッパ世界の変容</p> <p>4 中世文化</p> <p>第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>1 宋とアジア諸地域の自立化</p> <p>2 モンゴル帝国の成立</p> <p>第9章 大交易・大交流の時代</p> <p>1 アジア交易世界の興隆</p> <p>2 ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容</p> <p>第10章 アジア諸帝国の繁栄</p> <p>1 オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>2 ムガル帝国の興隆</p> <p>3 清代の中国と隣接諸地域</p> <p>第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p>1 ルネサンス</p> <p>2 宗教改革</p> <p>3 主権国家体制の成立</p> <p>4 オランダ・イギリス・フランスの台頭</p> <p>5 北欧・東欧の動向</p> <p>6 科学革命と啓蒙思想</p>	<p>を表現できるようにした(第2号)。</p> <p>*第6章の「探究しよう」では世界各地に伝播したイスラーム文化について、伝統と文化が融合されたモスクを例に探究し、他国の文化について見識を深められるようにした(第5号)。</p> <p>*世界史のなかで日本と近隣諸国の関わりや文化の伝播について理解できるよう叙述した(第5号)。</p> <p>*第11章の「探究しよう」では三十年戦争の惨禍から平和条約が結ばれたこと、主権国家体制が確立されたことを通して国際平和への取り組みについて考察できるようにした(第5号)。</p> <p>*奴隷貿易とアフリカの人口に関する資料を取り上げ、人権侵害のみならずその影響の大きさを考察できるようにした(第3号)。</p>	<p>p.97</p> <p>p.118、119、121、127、128</p> <p>p.149</p> <p>p.153</p>
<p>第Ⅲ部 諸地域の結合・変容</p> <p>第Ⅲ部へのアプローチ</p> <p>第12章 産業革命と環大西洋革命</p> <p>1 産業革命</p> <p>2 アメリカ合衆国の独立と発展</p> <p>3 フランス革命とナポレオンの支配</p> <p>4 環大西洋革命とラテンアメリカ諸国の独立</p> <p>第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <p>1 ウィーン体制と政治・社会の変動</p> <p>2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成</p> <p>3 アメリカ合衆国の発展</p> <p>4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄</p> <p>第14章 アジア諸地域の動揺</p> <p>1 西アジア地域の変容</p> <p>2 南アジア・東南アジアの植民地化</p> <p>3 東アジアの激動</p>	<p>*第Ⅲ部へのアプローチでは、交通革命によって南・東南アジアからのメッカ巡礼者数が増加したことを読み取り、それがのちの民族運動にも影響したことに気づくようにした(第1号)。</p> <p>*第12章の「探究しよう」では産業革命によって労働力構成に変化が生じたこと、労働者の生活が変化したことを探究し、現代の「第4次産業革命」ともつなげて技術革新が職業や生活に影響をもたらすことに気づくようにした(第2号)(第3号)。</p> <p>*第15章の「探究しよう」では「中国」の国名の由来について探究し、それぞれ自国</p>	<p>p.160～161</p> <p>p.164</p> <p>p.210</p>

<p>第15章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第2次産業革命と帝国主義 2 世界再分割と列強の対立 3 アジア諸国の変革と民族運動 <p>第16章 第一次世界大戦と世界の変容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 <p>第17章 第二次世界大戦と新国際秩序の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新国際秩序の形成 	<p>の伝統や文化を尊重する態度を養うようにした(第5号)。</p> <p>*日本の歴史について、世界史のなかで理解できるよう叙述した(第5号)。</p> <p>*第二次世界大戦が多くの犠牲者を生んだこと、核戦争の脅威をもたらすことになったこと、女性の参政権をはじめとする両性の同権化が進んだことなどを記述し、平和や平等について考察できるようにした。(第3号)(第5号)</p> <p>*第17章の「探究しよう」ではニュルンベルク国際軍事裁判について探究し、その公平性について考察を促した(第1号)(第3号)。</p>	<p>p.199、200、210、211、227、228、234、235、239～242</p> <p>p.242</p> <p>p.245</p>
<p>第IV部 地球世界の課題</p> <p>第18章 冷戦と第三世界の台頭</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺 <p>第19章 冷戦の終結と今日の世界</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相 <p>地球世界の課題の探究</p>	<p>*第IV部の扉では、冷戦から今日までの紛争について扱い、現代の課題として認識できるように留意した(第3号)。</p> <p>*第18章の「探究しよう」ではベトナム戦争に日韓はどのように関わったのかを探究し、反戦運動や学生運動などの社会運動についても考察を促した(第1号)(第3号)。</p> <p>*地球環境問題や温暖化について資料を豊富に掲載し、現代の課題として環境の保全に寄与する態度を養うようにした(第3号)。</p>	<p>p.249</p> <p>p.260</p> <p>p.277、278</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・地図・グラフの作成においては、カラーユニバーサルデザインに則り、色覚特性のある生徒にも読みやすい配色や線種を使用した。
- ・本文やキャプションで使用した文字のフォントについては、文字のかたちがわかりやすく、読み間違いが起きにくいユニバーサルデザインに対応した「UD書体」を採用した。
- ・より深い学びにつなげるため、インターネット上に教科書ポータルサイトを設け、教科書で使用されている一般的な基本用語の解説、世界史学習のうえで重要な年代、地域別の年表、学習に役立つ史料・図版などを参照できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-102	高等学校	地理歴史科	世界史探究	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

A 歴史の大きな流れを理解できる構成

●適切な文章量と豊富な図版

- ・標準単位数3単位で授業を行うことを前提として、やや詳しいと思われる事項・事柄は省き、世界史の大きな枠組みと展開を理解・考察できるように留意した。
- ・図版は豊富に掲載し、興味を持って読み解けるよう適宜問いを付した。地図は正確でわかりやすい作図に留意した。
- ・図版には節ごとに番号を振り、本文の該当部分にも付して、関連をわかりやすくした。
- ・本文の流れを妨げないよう、補足的な事項は注で扱った。

●内容の理解・定着に配慮した構造的な問い

- ・節ごとに、以下のように段階的な問いを設けた
 - ▶導入「節の問い」…学習の目標・要点が簡潔に表された問い
 - ▶展開「各図版の問い」…節の問いにも連動した、資料を用いて様々な観点から考える問い
 - ▶まとめ「節末の問い」…「節の問い」とは視点を変えた問いや、「あなたはどうか考えるか」など自身の考えを根拠と共に説明させる問いなど、節の内容をより深く理解できるように配慮したまとめの問い

●学習の導入や振り返りに活用できる「○世紀の世界」(p.4～13)

- ・2世紀・8世紀・13世紀・16世紀・19世紀の世界図と、その時代の概観を簡潔に示した。
- ・各世紀の特徴が一望でき、時代のイメージが掴みやすいよう、地図や図版の内容に配慮した。

●時代の特徴を捉える「部扉」と「アプローチ」

- ・各「部扉」および「部へのアプローチ」はテーマ(観点)を設け構成した。これから学ぶ時代の特徴をイメージし、興味・関心・疑問を引き出すよう留意した。観点の例として、第I部では王権・

身分・階級など（p.25～27）、第Ⅱ部では諸地域の交流と都市（p.91～93）、第Ⅲ部では交通の発達（p.159～161）、第Ⅳ部では紛争（p.249）を取り上げた。

B 課題を追究したり解決したりする活動を促す項目

●思考力を養う「探究しよう」のページ

本文の内容をより深める 28 個の「探究しよう」のページを設けた。それぞれ半ページから 1 ページ程度の取り組みやすいボリュームで構成した。世界史学習を通して様々な事象に興味を広げられるよう、社会・経済・法や裁判など、多様なテーマを取り上げるよう留意した。資料の読み解きの技能を高めるだけでなく、問いには適宜「調べてみよう」など発展的な要素も盛り込み、主体的な活動に結び付くようにした。

例：イスラーム文化の多様性をモスクから考えてみよう（p.97）

中国製品は、なぜ世界で人気だったのだろうか（p.126）

自由貿易には、どのような期待が込められていたのだろうか（p.176）

ニュルンベルク国際軍事裁判では何が裁かれたのだろうか（p.245）

中東の情勢に、アメリカはどのように関わっていたのだろうか（p.269）

●データで見る「世界史へのまなざし」

「世界史探究」の導入となる「世界史へのまなざし」は、身近なテーマを取り上げ、興味を引く絵画・写真のみならず、「地球温暖化が関係していると考えられる現象」（p.17）、「海外における日本食レストランの数」（p.19）、「ジェンダー＝ギャップ指数」（p.23）など、数値などから読み解く資料も豊富に掲載した。特に日本を含めた現在の状況を数値で確認することによって、より具体的に、当事者意識を持って今につながる歴史への学習意欲につながるよう配慮した。

●豊富な人物コラム

80名の人物をコラムとして取り上げた。本文では取り扱わない性格やエピソードも交え、人物を通して歴史への興味・関心が高まるよう配慮した。

●教科書ポータルサイトの設置

日々の学習の補助やさらなる探究活動を想定して教科書ポータルサイトを設置し教科書で使用されている一般的な基本用語の解説、世界史学習のうえで重要な年代、地域別の年表、学習に役立つ史料・図版などを参照できるようにした。

C 地図や資料を読み解く技能の習熟

- ・地図・グラフの作成においては、カラーユニバーサルデザインに則り、色覚特性のある生徒にも読みやすい配色や線種を使用した。
- ・表・グラフに関しては、大学入試でも取り上げられる統計などを積極的に活用した
例：東インド向けヨーロッパ船の数（p.150）、欧米諸国の工業化の進展（マクミラン世界歴史統計

より。p.186)

- ・文字資料に関しては、段階的に分量を増やし、無理なく技能が向上するよう配慮した。
- ・中世都市と現代日本の生活を五感で比べたり、開封の街の想像図を描いたりなど、想像的・作業的な体験もできるように留意した (p. 103、117)。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
世界史へのまなざし① 地球環境からみる人類の歴史 自然環境と人類の進化	A 世界史へのまなざし (1) 地球環境から見る人類の歴史	p.14～17	1
世界史へのまなざし② 日常生活からみる世界の歴史 料理からみる世界のつながり ミュージアムの歴史 家族の歴史	(2) 日常生活から見る世界の歴史	p.18～24	1
第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第Ⅰ部へのアプローチ	B 諸地域の歴史的特質の形成 (1) 諸地域の歴史的特質への問い	p.25～27	1
第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明	(2) 古代文明の歴史的特質	p.28～41	4
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 遊牧民族の活動と中国の分裂 4 東アジア文化圏の形成	(3) 諸地域の歴史的特質	p.42～90	5
第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開			3
第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア世界 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展			6
第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形			4

成			
1 イスラーム教とカリフ政権の成立			
2 ヨーロッパ世界の形成			
第Ⅱ部 諸地域の交流・再編	C 諸地域の交流・再編		
第Ⅱ部へのアプローチ	(1) 諸地域の交流・再編への問い	p.91～93	1
第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	(2) 結び付くユーラシアと諸地域	p.94～131	3
1 イスラーム教の諸地域への伝播			
2 西アジアのイスラーム諸政権			
第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開			6
1 西ヨーロッパの封建社会			
2 東ヨーロッパ世界			
3 西ヨーロッパ世界の変容			
4 中世文化			
第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国			3
1 宋とアジア諸地域の自立化			
2 モンゴル帝国の成立			
第9章 大交易・大交流の時代			4
1 アジア交易世界の興隆			
2 ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容			
第10章 アジア諸帝国の繁栄	(3) アジア諸地域とヨーロッパの再編	p.132～158	3
1 オスマン帝国とサファヴィー朝			
2 ムガル帝国の興隆			
3 清代の中国と隣接諸地域			
第11章 近世ヨーロッパ世界の動向			7
1 ルネサンス			
2 宗教改革			
3 主権国家体制の成立			
4 オランダ・イギリス・フランスの台頭			
5 北欧・東欧の動向			
6 科学革命と啓蒙思想			
第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	D 諸地域の結合・変容		
第Ⅲ部へのアプローチ	(1) 諸地域の結合・変容への問い	p.159～161	1
第12章 産業革命と環大西洋革命	(2) 世界市場の形成と諸地域の結合	p.162～200	5
1 産業革命			
2 アメリカ合衆国の独立と発展			
3 フランス革命とナポレオンの支配			
4 環大西洋革命とラテンアメリカ諸国の独立			
第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成			7

1 ウィーン体制と政治・社会の変動			
2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成			
3 アメリカ合衆国の発展			
4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄			
第14章 アジア諸地域の動揺			5
1 西アジア地域の変容			
2 南アジア・東南アジアの植民地化			
3 東アジアの激動			
第15章 帝国主義とアジアの民族運動	(3) 帝国主義とナショナリズムの高揚	p.201～231	7
1 第2次産業革命と帝国主義			
2 世界再分割と列強の対立			
3 アジア諸国の変革と民族運動			
第16章 第一次世界大戦と世界の変容			6
1 第一次世界大戦とロシア革命			
2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国			
3 アジア・アフリカ地域の民族運動			
第17章 第二次世界大戦と新国際秩序の形成	(4) 第二次世界大戦と諸地域の変容	p.232～248	7
1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊			
2 第二次世界大戦			
3 新国際秩序の形成			
第IV部 地球世界の課題	E 地球世界の課題	p.249	
第18章 冷戦と第三世界の台頭	(1) 国際機構の形成と平和への模索 (2) 経済のグローバル化と格差の是正	p.250～276	4
1 冷戦の展開			
2 第三世界の台頭とキューバ危機			
3 冷戦体制の動揺			
第19章 冷戦の終結と今日の世界			7
1 産業構造の変容			
2 冷戦の終結			
3 今日の世界			
4 現代文明の諸相	(3) 科学技術の高度化と知識基盤社会	p.277～278	
地球世界の課題の探究	(4) 地球世界の課題の探究	p.279	2
		予備	2
		合計	105

常用漢字以外の使用漢字一覧表

濠 (p.5)	伝播 (p.7)	釘 (p.7)	椰子 (p.7)	槍先 (p.15)	飢饉 (p.16)	石膏 (p.16)	祀る (p.20)	絆 (p.22)	啓蒙 (p.22)
胄 (p.26)	饗宴 (p.26)	剃髮 (p.27)	石斧 (p.28)	砥石 (p.28)	牡牛 (p.28)	犁 (p.28)	牽かせて (p.28)	灌溉 (p.29)	楔形 (p.31)
対峙 (p.32)	煉瓦 (p.35)	沐浴場 (p.36)	邑 (p.38)	夷狄 (p.39)	鏃 (p.43)	諡号 (p.45)	宦官 (p.46)	編纂 (p.46)	莫大 (p.50)
奢侈品 (p.50)	多鬚 (p.51)	窪んだ (p.51)	柘目状 (p.52)	胡人 (p.52)	傭兵 (p.53)	琵琶 (p.54)	頬 (p.54)	俑 (p.54)	輪廻転生 (p.55)
梵 (p.55)	瞑想 (p.55)	菩薩 (p.56)	笏杖 (p.63)	砦 (p.65)	僭主 (p.66)	兜 (p.66)	鎧 (p.66)	三段櫓船 (p.67)	漕ぎ手 (p.67)
敬虔 (p.74)	恰好 (p.74)	凱旋門 (p.76)	天秤 (p.81)	平坦 (p.83)	叱咤 (p.85)	復讐 (p.86)	刺繍 (p.89)	時禱書 (p.90)	庇護 (p.98)
廟 (p.99)	姪 (p.104)	一揆 (p.107)	弩 (p.110)	獅子 (p.110)	尖頭 (p.113)	剥奪 (p.115)	拔擢 (p.118)	精悍 (p.119)	牌子 (p.120)
白蓮教徒 (p.122)	弥勒仏 (p.122)	托鉢僧 (p.123)	堅牢化 (p.125)	秧馬 (p.126)	煽った (p.130)	謳歌 (p.134)	絨毯 (p.135)	辮髪 (p.139)	贅沢 (p.143)
贖宥状 (p.143)	終焉 (p.146)	仇敵 (p.155)	甥 (p.177)	欽定 (p.178)	隠遁 (p.180)	銑鉄 (p.186)	寵愛 (p.202)	棍棒 (p.205)	栗 (p.211)
蓮 (p.212)	塹壕 (p.217)	膠着 (p.217)	驚愕 (p.237)	脆弱 (p.276)					

* 地名・人名を含む固有名詞、地図中・資料中の語については、省略しました。

出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
表見返し	世界の自然	地図						著者作成
〃	世界の気候区分	地図・グラフ	『理科年表 2019』/ 『気候系監視資料 2011』		国立天文台編/ 気象庁	丸善株式会社/ 財団法人気象業務 支援センター	2018/ 2012	左記出典などを元に著者作成
表見返し裏-1	ウィレム・ブラウの古地図	写真						国土地理院所蔵
2-3	世界地図	写真						ユニフォトプレス
4-5	2世紀の世界	地図						著者作成
4	ローマの公共浴場跡	写真						WPS(ワールドフォトサービス)
5	バルティアの武人像	写真						ユニフォトプレス
5	オケオ出土のローマ金貨	写真						大村次郷提供
5	吉野ヶ里遺跡	写真						国営吉野ヶ里歴史公園
5	後漢の銅鏡	写真						早稲田大学會津八一記念博物館所蔵
6-7	8世紀の世界	地図						著者作成
6	トゥール・ボワティエ間の戦い	写真						ユニフォトプレス
6	ギリシア火	写真						ユニフォトプレス
7	ムスリム商人の船	写真						ユニフォトプレス
7	ダウ船	写真						ユニフォトプレス
7	ジャンク船	写真						ユニフォトプレス
7	遣唐使一行の船	写真						唐招提寺所蔵/奈良国立博物館提供(撮影 森村欣司)
8-9	13世紀の世界	地図						著者作成
8	染付	写真						ユニフォトプレス
8	バグダードに入城するモンゴル軍	写真						ユニフォトプレス
9	蒙古襲来	写真						皇居三の丸尚蔵館所蔵
9	銀錠	写真						大日本印章株式会社
9	高麗版大蔵経	写真						CPCphoto
10-11	16世紀の世界	地図						著者作成
10	アルマダの海戦(1588年)	写真						ユニフォトプレス
10	トウモロコシを収穫するアステカ人	写真						ユニフォトプレス
11	アメリカ大陸産の栽培植物(ジャガイモ)	写真						ユニフォトプレス
11	アメリカ大陸産の栽培植物(トウモロコシ)	写真						ユニフォトプレス
11	アメリカ大陸産の栽培植物(タバコ)	写真						ユニフォトプレス
11	カリブ海のサウキピニプランテーション	写真						ユニフォトプレス
11	高価な毛皮獣クロテン	写真						アフロ
11	万暦帝	写真						ユニフォトプレス
11	ホイアンの来遠橋	写真						Imagemart
12-13	19世紀の世界	地図						著者作成
12	カティニ=サーク号	写真						ユニフォトプレス
12	アメリカへの移民数の推移	グラフ	『近代国際経済要覧』	7	宮崎屋一・奥村茂次・森 田桐郎編	東京大学出版会	1989	左記出典を元に著者作成
13	イギリス海底ケーブルの主要ルート	地図						著者作成
13	クラブ砲の登場	写真						gettyimages
13	女神ブリタニアの像	写真						ユニフォトプレス
14	人類の進化	図						著者作成
15	クロマニヨン人の家族	写真						ユニフォトプレス
15	ラスコーの洞穴絵画	写真						ユニフォトプレス
15	言語の分化	地図						著者作成
16	テムズ川の氷上市(1683~84年)	写真						gettyimages
16	ヴェスヴィオ火山とボンペイの遺跡	写真						ユニフォトプレス
16	パン屋の夫婦	写真						ユニフォトプレス
16	埋もれた人間の石膏像	写真						ユニフォトプレス
16	浅間山の噴火	写真						美斉津洋夫所蔵

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
17	地球温暖化が関係していると考えられる現象	地図	『環境省資料』/ 『ナショナルジオグラフィック 日本版』		環境省/ 日経ナショナルジオグラフィック社	環境省/ 日経ナショナルジオグラフィック社	2004/ 2004年9月	左記出典を元に著者作成
17	1918年のスペイン風邪第1波の流行経路	地図	The Geography and Mortality of the 1918 Influenza Pandemic	4-21	K. David Patterson and Gerald F. Pyle	Bulletin of the History of Medicine, vol.65, no.1	1991	左記出典を元に著者作成
18	「一般飲食店」の産業小分類別事業所数および収入額の構成比	表	令和3年経済センサスー活動調査「産業(小分類)、単独・本所・支所別民営事業所数、従業者数及び売上(収入)金額(外国の会社及び法人でない団体を除く)ー全国」			総務省統計局	2021	総務省ウェブページより。 左記出典を元に著者作成
19	ピッツァ	写真						ユニフォトプレス
19	飲茶	写真						アフロ
19	会席料理	写真						アフロ
19	海外における日本食レストランの数	図	「海外における日本食レストランの数」			農林水産省食料産業局	2019	農林水産省ウェブページより。 左記出典を元に著者作成
20	ヴンダーカマー(驚異の部屋)	写真						ユニフォトプレス
20	湯島聖堂博覧会	写真						DNP/東京国立博物館
21	アウシュヴィッツ=ビルケナウ国立博物館(強制収容所跡)	写真						アフロ
21	新横浜ラーメン博物館	写真						新横浜ラーメン博物館
22	家族そろっての昼食(1840年、ドイツ)	写真						ユニフォトプレス
23	日本国憲法(抜粋)	史料	日本国憲法御署名原本				昭和21年11月3日	国立公文書館デジタルアーカイブ
23	ジェンダー=ギャップ指数(GGI、2024年)	表	Global Gender Gap Report 2024			World Economic Forum	2024	左記出典を元に著者作成
24	イギリスの俳優エマ=ワトソンの国連でのスピーチ(2014年)	史料	Emma Watson's 2014 Speech on Gender Equality			UN Women	2014	著者訳
24	エマ=ワトソン	写真						アフロ
24	6歳未満の子どもをもつ夫婦の1日あたり家事・育児関連時間の国際比較	グラフ	「ひとりひとりが幸せな社会のために」			内閣府・男女共同参画推進連携会議	2019	左記出典を元に著者作成
24	育児休業取得率の推移(男女別)	グラフ	「ひとりひとりが幸せな社会のために」			内閣府・男女共同参画推進連携会議	2019	左記出典を元に著者作成
24	研究者に占める女性割合の国際比較(2018年)	グラフ	「ひとりひとりが幸せな社会のために」			内閣府・男女共同参画推進連携会議	2019	左記出典を元に著者作成
25	ツタンカーメン王	写真						アフロ
25	劉邦	写真						CPCphoto
25	トラヤヌス帝	写真						ユニフォトプレス
25	ハールーン=アッラシード	写真						ユニフォトプレス
26-27	ウルのスタンダード「戦争の場面」	写真						ユニフォトプレス
26-27	ウルのスタンダード「平和の場面」	写真						ユニフォトプレス
27	ウルのスタンダード	写真						ユニフォトプレス
28	磨製石器	写真						ユニフォトプレス
28	農耕をおこなう男女	写真						ユニフォトプレス
29	彩文土器(左)	写真						古代オリエント博物館所蔵
29	彩文土器(右)	写真						古代オリエント博物館所蔵
29	おもな古代文明とその遺跡	地図						著者作成
30	シュメールの高官僚	写真						ユニフォトプレス
30	古代オリエント世界と東地中海沿岸	地図						著者作成
31	ジグurat	写真						ユニフォトプレス
31	ハンムラビ法典(抜粋)	史料	『古代オリエント資料集1 ハンムラビ「法典」』	21、31、56 ~57、68	中田一郎訳	リトン	1999	
31	ハンムラビ法典碑	写真						ユニフォトプレス
31	楔形文字	写真						ユニフォトプレス
32	ナイル川の水位と農耕	図						著者作成
32	ピラミッドと守護神スフィンクス	写真						ユニフォトプレス
32	アメンヘテプ4世	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
33	「死者の書」	写真						ユニフォトプレス
33	バビロンのイシュタル門(復元)	写真						ユニフォトプレス
34	クノッソス宮殿(復元)	写真						ユニフォトプレス
34	シュリーマン	写真						ユニフォトプレス
34	アッシリアと4王国の領域	地図						著者作成
35	アッシュルバニパル王の狩猟	写真						ユニフォトプレス
35	モエンジョ=ダール出土の印章	写真						ユニフォトプレス
35	モエンジョ=ダール遺跡	写真						ユニフォトプレス
36	南アジアの地勢とアーリア人の進入	地図						著者作成
36	カースト制度	図						著者作成
37	彩陶	写真						ユニフォトプレス
37	黒陶	写真						ユニフォトプレス
37	東アジアの地勢と中国文明	地図						著者作成
38	獣骨に刻まれた甲骨文字	写真						ユニフォトプレス
38	殷時代の青銅器	写真						泉屋博古館
38	殷墟の絵図	図						著者作成
39	封建制の仕組み	図						著者作成
39	青銅貨幣(布銭)	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
39	青銅貨幣(刀銭)	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
39	戦国時代の中国	地図						著者作成
40	巨石人頭像	写真						ユニフォトプレス
41	マヤの神殿	写真						ユニフォトプレス
41	マチュ=ピチュ	写真						義井豊提供
41	アステカの人身御供	写真						ユニフォトプレス
41	南北アメリカの先住民文明とおもな遺跡	地図						著者作成
42	中央ユーラシアと周辺地域の関係図	図						著者作成
42	中央ユーラシアの遊牧諸勢力の移動と各地のおもな産物	地図						著者作成
43	遊牧民の生活風景	写真						ユニフォトプレス
43	弓に弦をはるスキタイの戦士	写真						ユニフォトプレス
43	スキタイ美術	写真						ユニフォトプレス
43	トルコ共和国の切手に描かれた冒頓単于	写真						切手の博物館(東京・目白)
44	オアシス	写真						ユニフォトプレス
44	遊牧民とオアシス民の共生	図						著者作成
44	秦・漢の青銅貨幣(半両銭)	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
44	秦・漢の青銅貨幣(五銖銭)	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
45	秦・前漢時代のアジア	地図						著者作成
45	始皇帝	写真						ユニフォトプレス
45	兵馬俑	写真						ユニフォトプレス
45	武帝	写真						CPCphoto
46	黄巾の乱	写真						ユニフォトプレス
46	漢代の豪族の屋敷	写真						ユニフォトプレス
47	竹簡	写真						CPCphoto
47	漢が与えた印章(地図)	地図						著者作成
47	〃(漢匈奴悪適尸逐王の印)	写真						大谷大学博物館
47	〃(漢匈奴悪適尸逐王の印(印影))	写真						大谷大学博物館
47	〃(広陵王璽)	写真						CPCphoto
47	〃(広陵王璽(印影))	写真						CPCphoto
47	〃(滇王之印)	写真						CPCphoto
47	〃(滇王之印(印影))	写真						CPCphoto
47	〃(漢委奴国王の印)	写真						福岡市博物館/DNPartcom
47	〃(漢委奴国王の印(印影))	写真						福岡市博物館/DNPartcom
47	三国時代の中国	地図						著者作成
48	5世紀の東アジア	地図						著者作成
48	雲崗の石仏	写真						ユニフォトプレス
49	「女史箴図」	写真						ユニフォトプレス
49	「蘭亭序」	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
50	ウイグルの仏教壁画	写真						ユニフォトプレス
50	盗賊に襲われる商人	写真						ユニフォトプレス
51	隋・唐時代のアジアと隋代の運河	地図						著者作成
51	日本に伝わるソグド人と考えられる仮面	写真						皇居正倉院事務所
51	巡幸する場帝	写真						ユニフォトプレス
52	長安の都城	図						著者作成
52	唐三彩	写真						ユニフォトプレス
53	ソントゥエン＝ガンボと文成公主	写真						ユニフォトプレス
53	則天武后	写真						ユニフォトプレス
54	顔真卿の書	写真						colbase／東京国立博物館
54	楽器を演奏する唐代の女性	写真						CPCphoto
54	ボロを楽しむ女性	写真						ユニフォトプレス
55	苦行するガウタマ	写真						ユニフォトプレス
56	マウリヤ朝の領域	地図						著者作成
56	アショーカ王石柱頭部のライオン	写真						ユニフォトプレス
56	クシャーナ朝とサータヴァーハナ朝の領域	地図						著者作成
57	アジャンターの壁画	写真						ユニフォトプレス
57	インド洋交易	地図						著者作成
56	カニシカ王が発行した金貨	写真						ユニフォトプレス
57	ガンダーラ仏像	写真						ユニフォトプレス
58	グプタ朝とヴァルダナ朝の領域	地図						著者作成
58	踊るシヴァ神	写真						ユニフォトプレス
58	グプタ朝時代の仏像	写真						ユニフォトプレス
59	ヴィシュヌ神	写真						著者提供
59	『ギータ＝ゴーヴィンダ(牛飼いの詩)』	史料	『ヒンドゥー教の聖典 二篇』	19～22、 25～26、 29～31、 52～54	小倉泰・横地優子訳注	平凡社	2000	
60	香辛料(コショウ)	写真						ユニフォトプレス
60	香辛料(クローブ)	写真						ユニフォトプレス
60	7～8世紀頃の東南アジア	地図						著者作成
61	アンコール＝ワット	写真						Imagemart
61	11～12世紀頃の東南アジア	地図						著者作成
61	ボロブドゥール	写真						ユニフォトプレス
62	貫納の浮き彫り	写真						ユニフォトプレス
62	アケメネス朝の領域	地図						著者作成
63	ゾロアスター教の儀式	写真						ユニフォトプレス
63	バルティアとササン朝の領域	地図						著者作成
63	シャープール1世の貨幣(表)	写真						ユニフォトプレス
63	シャープール1世の貨幣(裏)	写真						ユニフォトプレス
64	ササン朝時代の銀皿	写真						ユニフォトプレス
64	法隆寺の「四騎獅子狩文錦」	写真						法隆寺所蔵／東京国立博物館／DNPartcom
64	アテネのアクロポリス	写真						ユニフォトプレス
65	ギリシア人の世界	地図						著者作成
65	アテネの人口構成とスパルタの社会構成	グラフ	<i>An inventory of archaic and classical poleis: an investigation conducted by The Copenhagen Polis Centre for the Danish National Research Foundation / A companion to Sparta, 2 vols.</i>		M. H. Hansen & Y. H. Nielsen / A. Powell	Oxford University Press / Wiley-Blackwell	2004 / 2017	左記出典を元に著者作成
66	重装歩兵部隊	図	『世界の生活史25』	25	福井芳男ほか	東京書籍	1989	左記出典を元に著者作成
66	オストラコン(上)	写真						ユニフォトプレス
66	オストラコン(下)	写真						ユニフォトプレス
66	ペルシア戦争	地図						著者作成
67	三段櫓船	図	『世界の生活史3』	47	福井芳男ほか	東京書籍	1984	左記出典を元に著者作成
67	三段櫓船(断面図)	図	『世界の生活史25』	43	福井芳男ほか	東京書籍	1989	左記出典を元に著者作成

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
67	ペリクレス	写真						ユニフォトプレス
68	アレクサンドロスの帝国とヘレニズム時代の3王国	地図						著者作成
68	アレクサンドロス大王とペルシア王ダレイオス3世の戦い	写真						ユニフォトプレス
68	アレクサンドロス	写真						ユニフォトプレス
69	ギリシアの劇場	写真						ユニフォトプレス
69	ソクラテス	写真						ユニフォトプレス
69	ローマ時代の伝記作家ユスティヌスの大王像	史料	『歴史文化ライブラリー88 王宮炎上——アレクサンドロス大王とペルセポリス』	194	森谷公俊	吉川弘文館	2000	
69	ササン朝時代の大王像	史料	『世界史リブレット人5 アレクサンドロス大王』	65～66	澤田典子	山川出版社	2013	
69	イスラーム世界における大王像	史料	『世界史リブレット人5 アレクサンドロス大王』	66～67	澤田典子	山川出版社	2013	
70	「ミロのヴィーナス」	写真						ユニフォトプレス
70	アルキメデス	写真						ユニフォトプレス
71	フォロ＝ロマーノ	写真						ユニフォトプレス
71	ローマ帝国の領土拡大	地図						著者作成
72	アッピア街道	写真						ユニフォトプレス
72	マイル＝ストーン	写真						ユニフォトプレス
72	無産市民への穀物配布	写真						ユニフォトプレス
72	猛獣と戦う剣闘士	写真						ユニフォトプレス
72	グラックス兄弟	写真						ユニフォトプレス
73	カエサル	写真						ユニフォトプレス
74	アウグストゥス帝の像	写真						ユニフォトプレス
74	属州市ナルボーにおけるアウグストゥスの神性への祭儀創設碑文	史料	『世界史史料1 古代のオリエントと地中海世界』	270～271	歴史学研究会編	岩波書店	2012	
74	ガール水道橋	写真						ユニフォトプレス
74	コロッセウム	写真						ユニフォトプレス
74	アントニヌス＝ピウス浴場	写真						Shutterstock
75	四帝分治制を記念する像	写真						ユニフォトプレス
75	コンスタンティヌス帝	写真						ユニフォトプレス
76	コンスタンティヌス帝の凱旋門	写真						ユニフォトプレス
77	十字架にかけられるイエス	写真						ユニフォトプレス
77	パウロ	写真						ユニフォトプレス
78	カタコンベ	写真						ユニフォトプレス
78	アウグスティヌス	写真						ユニフォトプレス
79	イスラーム政権成立以前の西アジア	地図						著者作成
79	ムハンマドとガブリエル	写真						ユニフォトプレス
80	メッカのカーバ聖殿	写真						ユニフォトプレス
80	イスラーム政権の広がり	地図						著者作成
81	天秤を用いて取引するムスリム商人	写真						ユニフォトプレス
81	バグダードの円城	図						著者作成
81	『千夜一夜物語』に描かれたハールーン＝アッラシード	写真						ユニフォトプレス
81	マリ共和国の切手に描かれたイブン＝シーナー	写真						ユニフォトプレス
82	モスクの構造	図						著者作成
82	アラベスク(建物の壁画)	写真						ユニフォトプレス
82	コルドバのモスク	写真						ユニフォトプレス
82	10世紀後半の西アジア・北アフリカ	地図						著者作成
83	ヨーロッパの地勢	地図						著者作成
83	現在のヨーロッパの大森林	写真						ユニフォトプレス
84	ゲルマン人とスラヴ人の移動	地図						著者作成
84	ゲルマン人の移動	写真						ユニフォトプレス
85	6世紀半ばのビザンツ帝国の領土	地図						著者作成
85	ユスティニアヌス大帝と随身たち(イタリア、サン＝ヴィターレ聖堂のモザイク)	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
85	ハギア＝ソフィア聖堂(外観)	写真						ユニフォトプレス
85	ハギア＝ソフィア聖堂(内部)	写真						ユニフォトプレス
86	洗礼を受けるクローヴィス	写真						ユニフォトプレス
87	カール大帝	写真						ユニフォトプレス
87	カール大帝に贈られた象	史料	『動物園の文化史——ひとと動物の5000年』		澤井裕一	勉誠出版	2014	左記出典を元に著者作成
88	カール大帝の「西ローマ帝国」と分裂後のフランク王国	地図						著者作成
88	オットー1世	写真						ユニフォトプレス
89	ノルマン人のイングランド征服	写真						ユニフォトプレス
89	ノルウェーの木造教会	写真						ユニフォトプレス
89	9～12世紀のヨーロッパ	地図						著者作成
90	『ペリー公のいと華麗なる時禱書』に描かれた農民の1年(3月)	写真						ユニフォトプレス
90	『ペリー公のいと華麗なる時禱書』に描かれた農民の1年(7月)	写真						ユニフォトプレス
90	『ペリー公のいと華麗なる時禱書』に描かれた農民の1年(11月)	写真						ユニフォトプレス
90	荘園の構造	図						著者作成
90	騎士の叙任式	写真						ユニフォトプレス
91	隊商とともに砂漠をこえるマルコ＝ポーロ	写真						ユニフォトプレス
91	鄭和の遠征	写真						ユニフォトプレス
91	コロンブスの西インド諸島への上陸	写真						ユニフォトプレス
91	イタリアのトマト料理	写真						ユニフォトプレス
91	イギリスの喫茶風景	写真						ユニフォトプレス
92	12世紀のウィーン	地図						
92	シュテファン大聖堂	写真						ユニフォトプレス
92	15世紀ウィーンを訪れたイタリア人の手紙	史料	『図説 ウィーンの世界』	29～32	増谷英樹	河出書房新社	2016	
93	ファーティマ朝時代のカイロ	地図						著者作成
93	アズハル＝モスク	写真						ユニフォトプレス
93	1047年にカイロを訪れた旅行家ナーセル＝ホスローの旅行記	史料	『世界史リブレット16 イスラームの都市世界』	18～19	三浦徹	山川出版社	1997	
93	カイロのバザール(ハン＝ハリリ)	写真						Shutterstock
94	トルコ系騎馬戦士像	写真						ユニフォトプレス
95	トルコ人の西進とトルコ系政権の領域	地図						著者作成
95	クトゥブ＝ミナール	写真						ユニフォトプレス
95	東南アジアへのイスラーム教の伝播	地図						著者作成
96	16世紀までのおもなアフリカの国々	地図						著者作成
96	マンサ＝ムーサ	写真						ユニフォトプレス
97	イマームのモスク	写真						ユニフォトプレス
97	スレイマン＝モスク	写真						ユニフォトプレス
97	清真寺	写真						ユニフォトプレス
97	ジェンネのモスク	写真						アフロ
97	マムルーク	写真						ユニフォトプレス
98	城壁に囲まれたイェルサレムの旧市街	写真						ユニフォトプレス
98	11世紀後半の西アジア・北アフリカ	地図						著者作成
98	サラディン	写真						ユニフォトプレス
99	写本絵画	写真						アフロ
99	イスラーム神秘主義者	写真						ユニフォトプレス
100	アルハンブラ宮殿	写真						ユニフォトプレス
101	カノッサの屈辱	写真						ユニフォトプレス
101	インノケンティウス3世	写真						ユニフォトプレス
102	十字軍と西ヨーロッパ勢力の拡大	地図						著者作成
102	船に乗る十字軍兵士	写真						ユニフォトプレス
102	ウルバヌス2世	写真						ユニフォトプレス
103	中世都市・交通路と二大商業圏	地図						著者作成
103	中世都市	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
103	中世の店の看板	写真						ユニフォトプレス
104	親方と弟子	写真						ユニフォトプレス
104	ユダヤ人の迫害	写真						ユニフォトプレス
104	10世紀末頃の東ヨーロッパ	地図						著者作成
105	キエフのハギア=ソフィア聖堂	写真						ユニフォトプレス
105	14世紀半ば～15世紀の東ヨーロッパ	地図						著者作成
105	ブラハの町並とカレル橋	写真						ユニフォトプレス
106	ハンガリーの騎馬群像	写真						ユニフォトプレス
106	サン=ヴィターレ聖堂	写真						ユニフォトプレス
106	聖母子のイコン	写真						ユニフォトプレス
107	黒死病の流行	写真						ユニフォトプレス
107	ワット=タイラーの乱	写真						ユニフォトプレス
108	火刑に処されるフス	写真						ユニフォトプレス
108	ジョン王	写真						ユニフォトプレス
109	大憲章(マグナ=カルタ)	写真						ユニフォトプレス
109	アナーニ事件(1303年)	写真						ユニフォトプレス
109	イギリスの議会(1265年)	写真						ユニフォトプレス
110	百年戦争初期のクレシーの戦い(1346年)	写真						ユニフォトプレス
110	ジャンヌ=ダルク	写真						ユニフォトプレス
110	イベリア半島の国土回復運動	地図						著者作成
110	スペイン女王イサベル・国王フェルナンドと娘のフアナ	写真						ユニフォトプレス
111	15世紀末のドイツ・スイス・イタリアと北欧	地図						著者作成
112	「小鳥に説教する聖フランチェスコ」	写真						ユニフォトプレス
112	開墾する修道士	写真						ユニフォトプレス
112	ドイツの大学の講義風景	写真						ユニフォトプレス
113	シュバイアー大聖堂	写真						ユニフォトプレス
113	「最後の審判」を題材としたロマネスク様式の浮き彫り	写真						ユニフォトプレス
113	ランス大聖堂	写真						ユニフォトプレス
113	シャルトル大聖堂のステンドグラス	写真						ユニフォトプレス
114	11世紀後半の東アジア	地図						著者作成
115	西夏文字	写真						ユニフォトプレス
115	科挙の合格発表	写真						ユニフォトプレス
115	王安石	写真						ユニフォトプレス
115	12世紀頃のアジア	地図						著者作成
116	紙幣	写真						ユニフォトプレス
116	「清明上河図」	写真						ユニフォトプレス
117	『東京夢華録』	史料	『東京夢華録』		孟元老(入矢義高ほか訳)	平凡社	1996	左記出典を元に著者作成
117	宋代の開封	地図						著者作成
118	宋の青磁	写真						ユニフォトプレス
118	士大夫の理想像	写真						ユニフォトプレス
118	文人画「墨竹図」	写真						ユニフォトプレス
118	院体画「桃鳩図」	写真						ユニフォトプレス
118	朱熹	写真						ユニフォトプレス
119	『太極図説』	写真						公益財団法人東洋文庫所蔵
119	モンゴル帝室の系図	図						著者作成
119	チンギス=カンの生涯を描いた壁画の一部	写真						CPCphoto
120	モンゴル時代の牌子(漢字)	写真						京都大学大学院文学研究科東洋史学専修所蔵研究室所蔵/京都大学総合博物館寄託
120	モンゴル時代の牌子(ウイグル文字)	写真						ユニフォトプレス
120	モンゴル帝国の最大領域	地図						著者作成
121	交鈔	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵
121	元の天文台	写真						CPCphoto

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
121	マルコ=ポーロ	写真						ユニフォトプレス
122	ウズベキスタンの首都タシケントにあるティムール像	写真						ユニフォトプレス
123	洪武帝(左)	写真						ユニフォトプレス
123	洪武帝(右)	写真						ユニフォトプレス
124	明代のアジア	地図						著者作成
124	鄭和	写真						ユニフォトプレス
124	訓民正音	写真						公益財団法人東洋文庫所蔵
124	世宗	写真						社内所蔵
125	長城	写真						ユニフォトプレス
125	倭寇の活動	写真						東京大学史料編纂所所蔵
126	『農政全書』の挿し絵	写真						公益財団法人東洋文庫所蔵
126	棚に蚕をのせ作業する人(『農政全書』)	写真						公益財団法人東洋文庫所蔵
126	17世紀初めの中国生糸生産の状況	史料	『世界史リブレット13 東アジアの「近世」』(光緒『石門県志』)	32～33	岸本美緒	山川出版社	1998	
126	スペイン国王に対する報告書(1602年)	史料	『世界史リブレット13 東アジアの「近世」』(『フィリピン諸島誌』)	35～36	岸本美緒	山川出版社	1998	
127	「坤輿万国全図」	写真						宮城県図書館所蔵
127	糸くり(『天工開物』)	写真						公益財団法人東洋文庫所蔵
127	マテオ=リッチと徐光啓	写真						公益財団法人東洋文庫所蔵
127	『幾何原本』	写真						公益財団法人東洋文庫所蔵
128	豊臣秀吉の朝鮮侵攻	写真						CPCphoto
129	コロンブス	写真						ユニフォトプレス
129	ヨーロッパ人による航海と探検	地図						著者作成
130	鉱山で働くインディオ	写真						ユニフォトプレス
130	ラス=カサス	写真						ユニフォトプレス
130	アメリカ先住民の人口減少	グラフ	『ラテンアメリカ史——植民地時代の 実像』/ 『民族の世界史13 民族交錯のアメリカ大陸』	51、130～ 131/ 227	染田秀藤編/ 大貫良夫編	世界思想社/ 山川出版社	1989/ 1984	左記出典を元に著者作成
131	アステカ王国を征服するコルテス	写真						ユニフォトプレス
131	マリンチェ	写真						ユニフォトプレス
132	オスマン帝国とサファヴィー朝の最大領域	地図						著者作成
132	イエニチェリ	写真						ユニフォトプレス
132	スレイマン1世	写真						ユニフォトプレス
132	ウィーン包囲	写真						ユニフォトプレス
133	イスファハーンの「王の広場」	写真						ユニフォトプレス
134	デウシルメ	写真						ユニフォトプレス
134	スレイマン=モスク	写真						ユニフォトプレス
135	ムガル帝国の領域	地図						著者作成
135	ナーナク	写真						ユニフォトプレス
136	タージ=マハル	写真						ユニフォトプレス
136	ムガル歴代の皇帝	写真						ユニフォトプレス
137	雍正帝	写真						ユニフォトプレス
137	鄭成功	写真						CPCphoto
137	紫禁城の太和殿	写真						ユニフォトプレス
138	清代のアジア(18世紀半ば)	地図						著者作成
138	ラサのポタラ宮殿	写真						ユニフォトプレス
138	康熙帝の狩猟場にある山荘の南門	写真						ユニフォトプレス
138	「乾隆帝文殊菩薩」(部分)	写真						ユニフォトプレス
139	「琉球貿易図屏風」(那覇港の繁栄)	写真						滋賀大学経済学部附属史料館所蔵
139	日本(江戸時代)の対外関係	地図						著者作成
139	辮髪	写真						国立公文書館

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
140	広州の外国商館	写真						ユニフォトプレス
140	カスティリオーネが描いた乾隆帝	写真						ユニフォトプレス
140	シノワズリの部屋	写真						ユニフォトプレス
141	プトレマイオスの天球図	写真						ユニフォトプレス
141	地動説の体系を示す図	写真						ユニフォトプレス
141	コペルニクス	写真						ユニフォトプレス
142	ミケランジェロ「ダヴィデ像」	写真						ユニフォトプレス
142	中世の聖母子像(左)	写真						ユニフォトプレス
142	ラファエロの聖母子像(右)	写真						ユニフォトプレス
142	ボッティチェリ「春」	写真						ユニフォトプレス
142	ブリューゲル「農民の踊り」	写真						ユニフォトプレス
142	レオナルド＝ダ＝ヴィンチ	写真						ユニフォトプレス
142	「最後の晩餐」	写真						ユニフォトプレス
142	サン＝ピエトロ大聖堂	写真						ユニフォトプレス
143	大砲	写真						ユニフォトプレス
143	活版印刷所	写真						ユニフォトプレス
143	『ガルガンチュアとパンダグリユエルの物語』の挿絵	写真						ユニフォトプレス
144	贖宥状の販売	写真						ユニフォトプレス
144	「九十五カ条の論題」(抜粋)	史料	『新訳世界史史料・名言集』	73	江上波夫監修	山川出版社	1975	
144	ヘンリ8世	写真						ユニフォトプレス
145	プロテスタントとカトリックの分布	地図						著者作成
145	宗教裁判所	写真						ユニフォトプレス
146	マキアヴェリ	写真						ユニフォトプレス
146	カール5世	写真						ユニフォトプレス
146	16世紀半ばのヨーロッパ	地図						著者作成
147	レバントの海戦	写真						ユニフォトプレス
147	フェリペ2世	写真						ユニフォトプレス
148	エリザベス1世	写真						ユニフォトプレス
148	アンリ4世	写真						ユニフォトプレス
148	サンバルテルミの虐殺	写真						ユニフォトプレス
148	マスケット銃	写真						ユニフォトプレス
149	三十年戦争の災禍	写真						ユニフォトプレス
149	ウェストファリア条約(序文)	史料	Deutsche Geschichte in Quellen und Darstellung Bd.4				1996	著者訳
149	ウェストファリア条約が締結された「平和の間」(ミュンスター市庁舎)	写真						ユニフォトプレス
150	オランダ東インド会社のマーク入りの皿	写真						神戸市立博物館
150	東インド向けヨーロッパ船の数	表	『興亡の世界史13 東インド会社とアジアの海』	155	羽田正	講談社	2007	著者作成
151	17世紀半ばのヨーロッパ諸国の植民地	地図						著者作成
151	イギリス国旗の変遷	図・地図						著者作成
151	ホップズ『リヴァイアサン』の扉絵	写真						ユニフォトプレス
152	権利の章典(抜粋)	史料	『新訳世界史史料・名言集』	82	江上波夫監修	山川出版社	1975	
152	ウォルポール	写真						ユニフォトプレス
152	ルイ14世	写真						ユニフォトプレス
153	コルベール	写真						ユニフォトプレス
153	ヴェルサイユ宮殿の「鏡の間」	写真						ユニフォトプレス
153	イギリスからの奴隷船の内部	写真						ユニフォトプレス
153	大西洋をめぐる三角貿易	地図						著者作成
153	アジア・アフリカ・ヨーロッパ3大陸の人口の変化	グラフ	『近代国際経済要覧』	1	宮崎屋一・奥村茂次・森田桐郎編	東京大学出版会	1989	左記出典を元に著者作成
154	イヴァン4世	写真						ユニフォトプレス
154	ピョートル1世	写真						ユニフォトプレス
154	ポーランド分割	写真						ユニフォトプレス
155	18世紀半ばのヨーロッパ	地図						著者作成
155	マリア＝テレジア	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
156	フルートを演奏するフリードリヒ2世	写真						ユニフォトプレス
156	ニュートン	写真						ユニフォトプレス
156	ガリレイ	写真						ユニフォトプレス
157	ロック	写真						ユニフォトプレス
157	グロティウス	写真						ユニフォトプレス
157	アリストテレスの主張	史料						著者作成
157	17世紀ヨーロッパの発見・発明・技術の一例	表						著者作成
158	ルソー	写真						ユニフォトプレス
158	18世紀初めのロンドンのコーヒーハウス	写真						ユニフォトプレス
159	自動車(ベンツ1885年)	写真						アフロ
159	飛行機(ライト兄弟)	写真						ユニフォトプレス
159	アポロ11号(1969年)	写真						NASA
160	トマス=クックのポスター(1808年)	写真						ユニフォトプレス
160	ロンドン万国博覧会	写真						ユニフォトプレス
160	『80日間世界一周』の旅行路	図						著者作成
161	1880年代のメッカ巡礼	写真						ユニフォトプレス
161	スマトラ島のアチェからのメッカ巡礼者(1880年代)	写真						ユニフォトプレス
161	南・東南アジアからのメッカ巡礼者数(1926~31年(年平均))	グラフ	<i>Subversive Seas: Anticolonial Networks across the Twentieth-Century Dutch Empire. / The Haddj. Some of its features and functions in Indonesia.</i>	34/ 118	Kris Alexanderson/ J. Vredendregt	Cambridge University Press/ Bijdragen tot de Taal-, Land- en Volkenkunde	2019/ 1962	左記出典を元に著者作成
161	スエズ運河開通による航路ごとの距離	表	『近代国際経済要覧』	24	宮崎屋一・奥村茂次・森田桐郎編	東京大学出版会	1989	左記出典を元に著者作成
163	綿織物の製造過程と技術革新	図						著者作成
163	〃(綿花)	写真						ユニフォトプレス
163	〃(綿糸)	写真						ユニフォトプレス
163	〃(綿織物)	写真						ユニフォトプレス
163	産業革命時代のイギリス	地図						著者作成
163	ワットの複動回転蒸気機関	写真						ユニフォトプレス
163	ステューヴンソンの蒸気機関車ロコモーション号	写真						ユニフォトプレス
164	イギリスの主要都市の人口	表	『環太平洋革命の時代』『岩波講座世界歴史17 環大西洋革命』	25	川北稔	岩波書店	1997	左記出典を元に著者作成
164	人口1人あたりの所得の変化	グラフ	『10万年の世界経済史 上』	14~15	グレゴリー・クラーク(久保恵美子訳)	日経BP社	2009	左記出典を元に著者作成
164	イギリスでの労働力構成の変化	グラフ	<i>British Economic Growth 1688-1959: Trends and Structure.</i>	166	Ph. Deane and W. A. Cole	Cambridge University Press	1962	
164	イギリス綿工場の内部	写真						ユニフォトプレス
165	植民地時代の北アメリカ東部(1750年頃)	地図						著者作成
166	ボストン茶会事件	写真						ユニフォトプレス
166	パトリック=ヘンリ	写真						ユニフォトプレス
166	ワシントン	写真						ユニフォトプレス
167	アメリカ独立宣言(抜粋)	史料	『新訳世界史史料・名言集』	100	江上波夫監修	山川出版社	1975	著者訳
167	独立宣言の署名	写真						ユニフォトプレス
167	フランクリン	写真						ユニフォトプレス
167	独立時のアメリカ国旗	写真						ユニフォトプレス
168	旧体制(アンシャン=レージュム)の風刺	写真						ユニフォトプレス
168	革命旗をもつサンキュロット	写真						ユニフォトプレス
169	バスティーユ牢獄への攻撃	写真						ユニフォトプレス
169	人権宣言(抜粋)	史料	『新訳世界史史料・名言集』	103	江上波夫監修	山川出版社	1975	著者訳
169	ルイ16世の処刑	写真						ユニフォトプレス
170	「サン=ベルナル峠をこえるナポレオン」	写真						ユニフォトプレス
170	ロベスピエール	写真						ユニフォトプレス
170	「1808年5月3日」	写真						ユニフォトプレス
171	ナポレオン全盛期のヨーロッパ	地図						著者作成
171	大陸封鎖令	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
172	環大西洋革命	地図						著者作成
172	トゥサン＝ルヴェルチュール	写真						ユニフォトプレス
173	ボリバル	写真						ユニフォトプレス
173	ラテンアメリカ諸国の独立	地図						著者作成
174	ウィーン会議の風刺画	写真						ユニフォトプレス
174	タレーラン	写真						ユニフォトプレス
175	ウィーン会議後のヨーロッパ	地図						著者作成
175	「キオス島の虐殺」	写真						ユニフォトプレス
175	「民衆を導く自由の女神」	写真						ユニフォトプレス
176	コブデンによる演説(1846年)	史料	Speeches on questions of public policy, vol. 1	362～363	Richard Cobden ; edited by John Bright and James E. Thorold Rogers	London : Macmillan	1870	著者訳
176	イギリスの経済学者ジェヴォンズが著した一節(1865年)	史料	The coal question; an enquiry concerning the progress of the Nation, and the probable exhaustion of our coal-mines	306	Jevons, William Stanley	London : Macmillan	1865	著者訳
177	マルクス	写真						ユニフォトプレス
178	フランクフルト国民議会	写真						ユニフォトプレス
178	クリミア戦争とナイティンゲール	写真						ユニフォトプレス
179	農奴解放を布告するアレクサンドル2世	写真						WPS
179	ヴィクトリア女王	写真						WPS
180	ガリバルディ	写真						ユニフォトプレス
180	イタリアの統一	地図						著者作成
181	ドイツの統一	地図						著者作成
181	ドイツ帝国の成立	写真						ユニフォトプレス
182	ビスマルク外交による同盟国とフランスの孤立	図						著者作成
182	ベルリン条約後のバルカン半島	地図						著者作成
183	北ヨーロッパ諸国	地図						著者作成
184	アメリカ合衆国の領土拡大	地図						著者作成
184	明白なる運命(マニフェスト＝デスティニー)(1872年)	写真						ユニフォトプレス
184	追われる先住民	写真						ユニフォトプレス
185	リンカン	写真						ユニフォトプレス
185	大陸横断鉄道の完成	写真						ユニフォトプレス
186	原綿消費量	表	『マクミラン世界歴史統計Ⅰ ヨーロッパ篇(1750-1975)』/『マクミラン世界歴史統計Ⅲ 南北アメリカ・大洋州篇』	449～450 / 472	B.R.ミッチェル編(斎藤真訳)	原書房	1983 / 1985	左記出典を元に著者作成
186	銑鉄生産量	表	『マクミラン世界歴史統計Ⅰ ヨーロッパ篇(1750-1975)』/『マクミラン世界歴史統計Ⅲ 南北アメリカ・大洋州篇』	412～415 / 453	B.R.ミッチェル編(斎藤真訳)	原書房	1983 / 1985	左記出典を元に著者作成
186	登録商船トン数	表	『マクミラン世界歴史統計Ⅰ ヨーロッパ篇(1750-1975)』/『マクミラン世界歴史統計Ⅲ 南北アメリカ・大洋州篇』	642～651 / 692, 694	B.R.ミッチェル編(斎藤真訳)	原書房	1983 / 1985	左記出典を元に著者作成
186	鉄道営業距離数	表	『マクミラン世界歴史統計Ⅰ ヨーロッパ篇(1750-1975)』/『マクミラン世界歴史統計Ⅲ 南北アメリカ・大洋州篇』	609～612 / 656, 658	B.R.ミッチェル編(斎藤真訳)	原書房	1983 / 1985	左記出典を元に著者作成
187	ベル	写真						ユニフォトプレス
187	「ヌデューズ号の筏」	写真						ユニフォトプレス
187	「落ち穂拾い」	写真						ユニフォトプレス
187	「ムーラン＝ド＝ラ＝ギャレット」	写真						ユニフォトプレス
188	キュリー夫妻	写真						ユニフォトプレス
188	ダーウィンの進化論を揶揄する風刺画	写真						ユニフォトプレス
189	アムンゼンの南極点到達	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
189	パリ市街の改造	写真						ユニフォトプレス
189	パリ万国博覧会の電気館	写真						WPS
190	ムハンマド＝アリー	写真						ユニフォトプレス
190	19世紀～20世紀初めの西アジアとバルカン半島	地図						著者作成
191	タンジマートの開始	写真	『中東現代史Ⅰ』	78	永田雄三, 加賀谷寛, 勝藤猛	山川出版社	1982	
191	ミドハト＝パシヤ	写真						ユニフォトプレス
191	オスマン帝国憲法(抜粋)	史料	『トルコにおける議会制の展開——オスマン帝国からトルコ共和国へ』	4～6	粕谷元編	東洋文庫	2007	
192	イエニチェリ軍団廃止の勅令(1826年6月17日)	史料	『世界史史料8 帝国主義と各地の抵抗Ⅰ』	118～119	歴史学研究会	岩波書店	2009	
192	マフムト2世	写真						ユニフォトプレス
193	植民地インドの領域	地図						著者作成
194	インドとイギリスの綿布輸出	グラフ	『世界各国史10 インド史』	214	山本達郎編	山川出版社	1960	左記出典を元に著者作成
194	シバーヒーの反乱	写真						ユニフォトプレス
194	東南アジアの植民地化	地図						著者作成
195	マレー半島のゴム林	写真						ユニフォトプレス
195	ラーマ4世	写真						ユニフォトプレス
196	アジアにおける三角貿易(1839年)	図	Returns relating to the trade of India and China, from 1814 to 1858.	(38 Sess. 2) XXIII		British Parliamentary Papers	1859	左記出典を元に著者作成
196	アヘン戦争	写真						ユニフォトプレス
196	アヘン貿易と銀の流出	グラフ	『銀線：十九世紀的世界与中国』		林満紅	國立臺灣大學出版中心	2011	左記出典を元に著者作成
197	19世紀半ばの東アジア	地図						著者作成
197	林則徐	写真						ユニフォトプレス
197	ロシアの東方進出	地図						著者作成
198	太平天国戦闘図	写真						ユニフォトプレス
198	洪秀全	写真						ユニフォトプレス
199	江華島事件	写真						野田市立図書館所蔵
199	江南製造局の設立(两江総督代理 李鴻章の上奏文(1865年9月20日))	史料	『世界史史料9 帝国主義と各地の抵抗Ⅱ』	59	歴史学研究会	岩波書店	2008	
199	福州船政局の成立(ジケル『福州の軍工廠』(1874年刊))	史料	『世界史史料9 帝国主義と各地の抵抗Ⅱ』	60～61	歴史学研究会	岩波書店	2008	
200	日清戦争の勝利を祝う錦絵	写真						国立国会図書館
200	『東学』の指導者全珠準	写真						ユニフォトプレス
201	ヨーロッパからアメリカ合衆国への移民(1870～1900年)	グラフ	『新書アメリカ合衆国史2 フロンティアと摩天楼』	73	野村達朗	講談社	1989	左記出典を元に著者作成
201	世界の工業生産に占める主要国のシェア	グラフ	『近代国際経済要覧』	12	宮崎屋一・奥村茂次・森田桐郎編	東京大学出版会	1989	左記出典を元に著者作成
201	ニューヨーク港に到着したヨーロッパからの移民	写真						ユニフォトプレス
202	列強の海外植民地領有面積の比較(1914年)	表	『帝国主義論』	105	レーニン(副島種典訳)	大月書店	1972	左記出典を元に著者作成
202	ディズレーリ	写真						ユニフォトプレス
202	スエズ運河	写真						ユニフォトプレス
203	ドレフュス事件	写真						ユニフォトプレス
204	バルンシュタイン『社会主義の諸前提と社会民主党の任務』(1899年)	史料	『世界史史料6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ』	249	歴史学研究会	岩波書店	2007	
204	バルンシュタイン	写真						ユニフォトプレス
205	血の日曜日事件	写真						ユニフォトプレス
205	セオドア＝ローズヴェルト	写真						ユニフォトプレス
205	ローズヴェルトの「棍棒外交」	写真						ユニフォトプレス
206	アフリカにおける列強の植民地(20世紀初め)	地図						著者作成
206	縦断政策とローズの風刺画	写真						ユニフォトプレス
207	アメリカの太平洋進出の風刺画(1900年)	写真	AND, ATTER ALL, THE PHILIPPINES ARE ONLY THE STEPPING-STONE TO CHINA		Emil Flohri	Judge Magazine	1900	パブリックドメイン

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
207	太平洋における列強の勢力圏(20世紀初め)	地図						著者作成
208	サバタ	写真						ユニフォトプレス
208	第一次世界大戦前の同盟・協商関係	図						著者作成
209	「王様のケーキ」	写真						ユニフォトプレス
209	東アジアにおける列強の進出	地図						著者作成
210	義和団	写真						パブリックドメイン
210	梁啓超「中国史叙論」(1901年)	史料	『新編 原典中国近代思想史3 民族と国家』	269	村田雄二編	岩波書店	2010	
211	日露戦争	写真						国立国会図書館
211	韓国の義兵闘争	写真						ユニフォトプレス
211	日露戦争前の国際関係	図						著者作成
212	孫文	写真						ユニフォトプレス
212	袁世凱	写真						CPPhoto
213	インド国民会議創立大会	写真						ユニフォトプレス
213	インドの宗教分布とベンガル分割	地図						著者作成
213	ティラク	写真						ユニフォトプレス
214	イスラーム同盟	写真						ユニフォトプレス
214	ホセ=リサール	写真						ユニフォトプレス
214	ファン=ボイ=チャウ	写真						ユニフォトプレス
215	アジア・アフリカのおもな民族運動・反帝国主義運動	地図						著者作成
215	オスマン帝国の国家統合の理念	図						著者作成
215	アフガーニー	写真						ユニフォトプレス
216	第2次バルカン戦争終結後のバルカン諸国	地図						著者作成
216	第一次世界大戦中のヨーロッパ	地図						著者作成
217	塹壕戦	写真						ユニフォトプレス
217	第一次世界大戦に関わった国と地域	地図						著者作成
218	新兵器の飛行機	写真						ユニフォトプレス
218	新兵器の戦車	写真						ユニフォトプレス
218	戦場を訪問するロイド=ジョージ	写真						ユニフォトプレス
218	軍需工場で働く女性	写真						ユニフォトプレス
219	ロシア二月革命で反乱をおこした兵士たち	写真						ユニフォトプレス
219	レーニン	写真						ユニフォトプレス
220	ロミンテルンのポスター	写真						ユニフォトプレス
221	ウィルソンの「十四カ条」(概要)	史料						著者作成
221	ヴェルサイユ条約の調印	写真						ユニフォトプレス
221	ウィルソン	写真						ユニフォトプレス
221	第一次世界大戦後のヨーロッパ	地図						著者作成
222	ルール占領	写真						ユニフォトプレス
223	ドイツの通貨インフレ	写真						ユニフォトプレス
223	ドーズ案成立後の資本の国際的循環	図						著者作成
223	「ローマ進軍」時のファシスト党の指導者たち	写真						ユニフォトプレス
224	ソ連工業の推移(銑鉄生産量)	グラフ	『マクミラン新編世界歴史統計[1]ヨーロッパ歴史統計 1750～1993』	459～463	B.R.ミッチェル編(中村宏・中村牧子訳)	東洋書林	2001	左記出典を元に著者作成
224	スターリン	写真						ユニフォトプレス
225	フォードの工場	写真						ユニフォトプレス
225	T型フォード	写真						ユニフォトプレス
225	1920年代のアメリカの映画館	写真						ユニフォトプレス
226	魯迅『呐喊』『自序』	史料	『阿Q正伝・狂人日記』	12～13	魯迅(竹内好訳)	岩波書店	1955	
226	魯迅	写真						ユニフォトプレス
227	陳独秀	写真						ユニフォトプレス
227	『新青年』の表紙	写真						ユニフォトプレス
227	三・一独立運動	写真						ユニフォトプレス
228	五・四運動の拡大	写真						ユニフォトプレス
228	蔣介石と宋美齡	写真						ユニフォトプレス
229	1920～30年代の中国	地図						著者作成

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
229	ガンディー(「塩の行進」)	写真						ユニフォトプレス
230	第一次世界大戦後の西アジア	地図						著者作成
230	ムスタファ＝ケマル	写真						ユニフォトプレス
232	株価暴落で混乱するウォール街	写真						ユニフォトプレス
233	フランクリン＝ローズヴェルト	写真						ユニフォトプレス
233	ロンドンの失業者のデモ	写真						ユニフォトプレス
233	世界恐慌中の各国工業生産指数の推移	グラフ	『近現代日本経済史要覧 補訂版』	114	三和良一・原朗編	東京大学出版会	2010	左記出典を元に著者作成
234	ヒトラー	写真						ユニフォトプレス
235	リットン調査団	写真						ユニフォトプレス
235	満洲国の成立	写真						ユニフォトプレス
235	長征を終えた共産党軍	写真						ユニフォトプレス
236	日中戦争の拡大	地図						著者作成
236	ナチス＝ドイツのラインラント進駐	写真						ユニフォトプレス
236	「ゲルニカ」	写真						ユニフォトプレス
237	ミュンヘン会談の風刺画(1938年)	写真						ユニフォトプレス
237	ナチス＝ドイツの領土拡大	地図						著者作成
238	「疑わしい友人」	写真						アフロ
238	第二次世界大戦(ヨーロッパ戦線)	地図						著者作成
238	フランスのレジスタンス	写真						ユニフォトプレス
239	チャーチル	写真						ユニフォトプレス
239	ワルシャワの居住区(ゲットー)から強制収容所へ送られるユダヤ人(1943年)	写真						ユニフォトプレス
239	第二次世界大戦の国際関係	図						著者作成
240	パールハーバー(真珠湾)攻撃	写真						ユニフォトプレス
240	太平洋戦争	地図						著者作成
241	第二次世界大戦中の枢軸国・連合国両陣営の形成	地図						著者作成
241	ノルマンディー上陸	写真						ユニフォトプレス
241	ヤルタ会談の三首脳	写真						ユニフォトプレス
242	広島爆心地付近	写真						広島平和記念資料館提供(米軍撮影)
243	サンフランシスコ会議	写真						ユニフォトプレス
243	ドイツとベルリンの分割	地図						著者作成
244	ベルリン封鎖への空輸作戦	写真						ユニフォトプレス
245	国際軍事裁判憲章(1945年8月8日)	史料	『世界史史料11 20世紀の世界II』	8～9	歴史学研究会	岩波書店	2012	
245	裁判所でのドイツの被告たち	写真						ユニフォトプレス
245	1945年9月2日、戦艦「ミズーリ号」でアメリカ代表として降伏調印に署名をするニミッツ	写真						ユニフォトプレス
245	検察の主張とニミッツ提督(アメリカ海軍の太平洋艦隊司令長官)の証言	史料	『ニュルンベルク裁判―ナチス戦犯はいかにして裁かれたか』		ヴェルナー・マーザー(西義之訳)	TBSブリタニカ	1979	左記出典を元に著者作成
246	中華人民共和国の成立を宣言する毛沢東主席	写真						ユニフォトプレス
246	中華人民共和国の記念切手(1950年)	写真						ユニフォトプレス
246	朝鮮戦争	地図						著者作成
246	朝鮮戦争の避難民	写真						ユニフォトプレス
247	サンフランシスコ講和会議における平和条約の調印	写真						ユニフォトプレス
247	インドシナ戦争(1950年)でのホーチミン	写真						ユニフォトプレス
248	第二次世界大戦後の東アジア・東南アジア・南アジア	地図						著者作成
248	インドの独立宣言	写真						時事通信社/時事通信フォト
248	第1次中東戦争	地図						著者作成
249	ソ連のアフガニスタン侵攻	写真						gettyimages
249	ルワンダ内戦	地図						著者作成
249	チベット騒乱	写真						gettyimages
250	冷戦の時代に結ばれた世界の諸同盟とおもな地域紛争	地図						著者作成
251	アイゼンハワー	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
251	各国の核実験回数	表	Our World in Data World map of nuclear weapons test		Max Roser and Mohamed Nagdy	University of Oxford	2007	オックスフォード大学ウェブページより。 左記出典を元に著者作成
251	「奥様は魔女」(1964～72年)	写真						ユニフォトプレス
252	ド＝ゴール	写真						ユニフォトプレス
252	フルシチョフ	写真						ユニフォトプレス
252	先進国各国の20世紀の経済成長率	グラフ	『世界の歴史29 冷戦と経済繁栄』	58	猪木武徳・高橋進	中央公論社	1999	左記出典を元に著者作成
252	エアハルト	写真						ユニフォトプレス
253	ソ連共産党大会で演説するフルシチョフ	写真						ユニフォトプレス
253	ハンガリーの反ソ暴動	写真						ユニフォトプレス
254	アジア＝アフリカ会議	写真						ユニフォトプレス
254	ナセル	写真						ユニフォトプレス
255	演説するエンクルマ	写真						ユニフォトプレス
255	第二次世界大戦後のアフリカ諸国の独立	地図						著者作成
255	アルジェリアでの民衆デモ(1960年)	写真						ユニフォトプレス
256	カストロとゲバラ	写真						ユニフォトプレス
256	キューバ危機の風刺画	写真						ユニフォトプレス
256	キューバ危機	写真						ユニフォトプレス
257	沖縄からベトナムに出撃するB52爆撃機	写真						毎日新聞社提供
257	ベトナム戦争	地図						著者作成
258	ケネディ	写真						ユニフォトプレス
258	ワシントン大行進でのキング牧師	写真						ユニフォトプレス
258	ソ連の軍事介入に抗議するブラハ市民	写真						ユニフォトプレス
259	西ドイツの「東方外交」	写真						ユニフォトプレス
259	紅衛兵の集会	写真						CPCphoto
259	1990年の中国の人口ピラミッド	グラフ	『人民日報』		人民日報社	人民日報社	1991年 5月21日	左記出典を元に著者作成
260	中ソ対立と東側諸国	地図						著者作成
260	佐藤栄作首相衆議院予算委員会答弁(1965年8月5日)	史料	『世界史史料11 20世紀の世界Ⅱ』	255	歴史学研究会	岩波書店	2012	
260	佐藤栄作	写真						首相官邸ウェブページより
260	猛虎部隊献送式における朴正熙大統領の諭示(1965年10月12日)	史料	『世界史史料11 20世紀の世界Ⅱ』	255～256	歴史学研究会	岩波書店	2012	
260	朴正熙	写真						ユニフォトプレス
260	韓国のベトナム派兵について	史料	『世界歴史大系 朝鮮史2』	201	李成市・宮嶋博史・糟谷憲一編	山川出版社	2017	
261	アジアの開発独裁体制	地図						著者作成
261	マハティール	写真						時事通信社/時事通信フォト
261	朴正熙	写真						ユニフォトプレス
261	マルコス	写真						ユニフォトプレス
261	リー＝クアンユー	写真						時事通信社/時事通信フォト
261	スハルト	写真						ユニフォトプレス
262	ドル＝ショックを報じる新聞記事	写真						毎日新聞社提供
262	原油価格の変遷	グラフ	BP Statistical Review of World Energy June 2019 Oil-Crude prices since 1861				2019	BPウェブページより。 左記出典を元に著者作成
263	1970年代の西アジアにおけるOPECとOAPEC	地図						著者作成
263	国鉄民営化の実現	写真						共同通信社
264	第3次中東戦争時のイスラエルの占領地拡大	地図						著者作成
264	イラン＝イスラーム革命	写真						時事通信社/時事通信フォト
264	日本の貿易収支	グラフ	「財務省貿易統計」 『日本長期統計総覧』第3巻	83	財務省 総務庁統計局監修	日本統計協会	1988	「財務省貿易統計」はウェブページより。 左記出典を元に著者作成
265	アフガニスタンの反政府ゲリラ	写真						ユニフォトプレス
266	チョルノービリ原発事故	写真						ユニフォトプレス
266	INF全廃条約の調印	写真						ユニフォトプレス
266	ゴルバチョフ	写真						ユニフォトプレス
266	「連帯」の指導者フレサ	写真						ユニフォトプレス
267	ベルリンの壁開放	写真						ユニフォトプレス

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
267	天安門事件	写真						ユニフォトプレス
267	反アパルトヘイトのポスター(1978年)	写真	Look before you buy. Boycott the products of apartheid			AAM Archives Committee	1978	
268	マルタ会談	写真						ユニフォトプレス
268	エリツイン	写真						時事通信社/時事通信フォト
268	独立国家共同体(CIS)を構成した12カ国(1993年時点)	地図						著者作成
269	イラン・イラク・クウェートの位置関係と宗教・人口	地図						著者作成
269	イラクのサダム＝フセイン大統領	写真						ユニフォトプレス
269	イラン＝イスラーム革命により最高指導者となったシーア派の指導者ホメイニ	写真						ユニフォトプレス
269	中東情勢	図						著者作成
269	クウェートの歴史	史料	『改訂新版 世界大百科事典』/ 『ブリタニカ国際大百科事典』			平凡社/ ブリタニカ・ジャパン	2007/	左記出典を参考に著者作成
269	イラク革命評議会声明(1990年8月8日)	史料	『世界史史料12 21世紀の世界へ日本と世界』	35～36	歴史学研究会	岩波書店	2013	
270	冷戦終結後のおもな地域紛争とテロ	地図						著者作成
271	旧ユーゴスラヴィアの民族分布	地図						著者作成
271	南北首脳会談	写真						ユニフォトプレス
271	ボート＝ピープル(1982年)	写真						gettyimages
272	アウン＝サン＝スー＝チャー	写真						ユニフォトプレス
272	アフリカ諸国の1人当たりの国民総所得(GNI)	地図	World Bank list of economies			The World Bank	2019	
273	インティファダ	写真						時事通信社/時事通信フォト
273	パレスチナ暫定自治協定	写真						ユニフォトプレス
274	経済を軸とした地域統合	図	『ジェトロ世界貿易投資報告 2018年版』	121		日本貿易振興機構	2018	日本貿易振興機構ウェブページより。左記出典などを元に著者作成
274	同時多発テロで破壊されるニューヨークの世界貿易センタービル	写真						アフロ
275	アラブ諸国での民主化運動の波及	地図						著者作成
275	中国のGDP(国内総生産)と経済成長率	グラフ	『平成30年版通商白書』	186	経済産業省	経済産業省	2018	経済産業省ウェブページより。左記出典を元に著者作成
276	ドイツの極右デモ	写真						時事通信社/時事通信フォト
277	世界人口の推移	グラフ	The World at Six Billion/ World Population Prospects 2019	5/ -	United Nations/ United Nations	United Nations/ United Nations	1999/ 2019	左記出典を元に著者作成
277	地球環境問題とその影響	図	『世界経済図説 第三版』		宮崎勇・田谷禎三	岩波新書	2012	左記出典を元に著者作成
278	1850年以降の平均気温と二酸化炭素排出量	グラフ	『グローバル経済史入門』	243	杉山伸也	岩波書店	2014	左記出典を元に著者作成
278	二酸化炭素排出の国・地域別割合(2022年)	グラフ	World Energy Outlook 2023			International Energy Agency	2023	国際エネルギー機関ウェブページより。左記出典を元に著者作成
278	アメリカ、アラスカ州のミューア氷河の後退	写真						ユニフォトプレス
裏見返し	現代の世界	地図						著者作成
裏見返し	①独立国数の推移	グラフ	『世界の国一覧表 2007年版』		外務省編集協力	世界の動き社	2007	左記出典などを元に著者作成
裏見返し	②国連加盟国数の推移	グラフ	『世界の国一覧表 2007年版』		外務省編集協力	世界の動き社	2007	左記出典などを元に著者作成
裏見返し	③地球に関する数値	表	『理科年表 2019』		国立天文台編	丸善株式会社	2018	左記出典などを元に著者作成

- (備考)
- 「申請図書」の欄については次のとおりとする。
 - 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
 - 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
 - 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。
 - 「出典」の欄については次のとおりとする。
 - 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
 - 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
 - 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。
 - 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
 - (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。
備考4の内容について確認しました。☑

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	1	URL 2次元コード	自社ページ	自社ページURL	教科書ポータルサイトへのリンク (各コンテンツへリンクさせるためのメニューページ)	別紙1
2	31	2次元コード	自社ページ	自社ページURL	「探究しよう」関連資料 (ハンムラビ法典碑の全体像)	別紙2-1 別紙2-2
3	54	2次元コード	自社ページ	自社ページURL	「探究しよう」関連資料 (杜甫「哀江頭」より一部)	別紙3-1 別紙3-2
4	59	2次元コード	自社ページ	自社ページURL	「探究しよう」関連資料 (ガンジス川での沐浴)	別紙4-1 別紙4-2
5	74	2次元コード	自社ページ	自社ページURL	「探究しよう」関連資料 (最高神祇官の姿のアウグストゥス像)	別紙5-1 別紙5-2
6	109	2次元コード	自社ページ	自社ページURL	「探究しよう」関連資料 (マグナ=カルタの条文)	別紙6-1 別紙6-2
7	199	2次元コード	自社ページ	自社ページURL	「探究しよう」関連資料 (大阪砲兵工廠と江南製造局を比較した表、洋務運動期のおもな工場と学校を示した地図)	別紙7-1 別紙7-2
8	245	2次元コード	自社ページ	自社ページURL	「探究しよう」関連資料 (デーニッツとクランツビューラーのやりとり、クランツビューラーの意図)	別紙8-1 別紙8-2

教科書名掲載

教科書
表 1 掲載

別紙 1-1

厳選した用語を解説
基本用語解説



重要年代を確認
重要年代チェック



別紙 1-2

別紙 1-3

地域ごとの流れを整理
地域別年表



教科書関連資料
歴史資料



別紙 1-4

会社名掲載

利用規約

コピーライト掲載

別紙 1-5

	基本用語解説	重要年代チェック	地域別年表	歴史資料
---	--------	----------	-------	------

厳選した用語を解説

基本用語解説



●世紀の世界 世界史へのまなざし 第Ⅰ部 第Ⅱ部 第Ⅲ部 第Ⅳ部

●世紀の世界

地域(領域)国家
都市とその周辺地域により形成される都市国家に対し、広大な地域を領土とし、中央集権的な政府によって統治される国家。

乳香
カンラン科の樹木から採れる樹脂。乳白色で芳香があり、香料や薬として利用されてきた...

ナツメグ
ニクズクの種子からつくられる、甘い香りとスパイシーな風味が特徴のスパイス。...

錫
銀白色の光沢をもち、柔らかく、延性・展性に富み、錆びにくい金属。古来、装飾品やブ...

白檀
心材から得られる芳香が特徴のビャクダン科の香木。古くから宗教儀式や香料として珍重...

世界史へのまなざし

精神文化

	基本用語解説	重要年代チェック	地域別年表	歴史資料
---	--------	----------	-------	------

重要年代を確認

重要年代チェック



紀元前～後4世紀
5～7世紀
8～10世紀
11～13世紀
14～15世紀
16～17世紀

18世紀
19世紀
20世紀以降

紀元前～後4世紀

約9000年前【オリエント】
西アジアで農耕・牧畜の開始
 麦の栽培とヤギ・羊・牛などの飼育が始まり、人類は食料を生産する重大な変革をとげた。

前6000年頃【中国】
黄河・長江流域で農耕開始
 黄河流域ではアワ、長江流域では稲を中心に栽培した。

前3000年頃【オリエント】
エジプト統一
 王(ファラオ)による統一国家がつけられた。

前3000年頃【ギリシア】
エーゲ文明の成立
 東地中海沿岸に誕生した青銅器文明。クレタ文明とミケーネ文明を代表とする。

🏠 基本用語解説 重要年代チェック 地域別年表 歴史資料

重要年代を確認

重要年代チェック



紀元前～後4世紀 5～7世紀 8～10世紀 11～13世紀 14～15世紀 16～17世紀

18世紀 19世紀 20世紀以降

紀元前～後4世紀

約 10000 年前【オリエント】
西アジアで農耕・牧畜の開始
麦の栽培とヤギ・羊・牛などの飼育が始まり、人類は食料を生産する重大な変革をとげた。

1000 年頃【中国】
黄河・長江流域で農耕開始
黄河流域ではアワ、長江流域では稲を中心に栽培した。

3000 年頃【オリエント】
エジプト統一
王(ファラオ)による統一国家がつけられた。

3000 年頃【ギリシア】
エーゲ文明の成立
東地中海沿岸に誕生した青銅器文明。クレタ文明とミケーネ文明を代表とする。

地域別年表	重要年代チェック	基本用語解説	歴史資料
地域ごとの流れを整理 地域別年表 			
中国史			
時代区分	年代	出来事	
	前5千年紀	中国文明 華北：黄河流域…彩陶の 文化 / 華中：長江文明…稲作 / 東北地方：遼河流域… 雑穀	
	前3千年紀	華北：黒陶の 文化	
殷	前1600年頃	殷王朝創建…青銅器文化・ 文字	
周	前11世紀頃	殷滅亡一周の華北支配 統治：分権的な …一族・功臣に封土を分与して世襲の諸侯に	
春秋時代	前770年	周の東遷一 遷都…春秋時代始まる 覇者(有力諸侯)による会盟	
戦国時代	前403年	韓・魏・趙、諸侯として認められる一戦国時代始まる(「戦国の七雄」)	
秦	 年	秦王政、中国を統一(～前206) 始皇帝、 制全国実施 / 都：咸陽	
	前209年	陳勝・呉広の乱：「王侯将相いづくんぞ種あらんや」	

基本用語解説		重要年代チェック		地域別年表		歴史資料	
--------	--	----------	--	-------	--	------	--

地域ごとの流れを整理

地域別年表



南アジア史 ▼

- 中国史
- 南アジア史
- 西アジア史
- ロシア史
- イタリア史
- フランス史
- ドイツ史
- イギリス史
- 南北アメリカ史

出来事	
	南アジア最古の都市文明(青銅器時代) =ダーロ、
	パンジャーブ地方)へ進入を開始 集『』成立
ヴェーダ時代	前1000年頃～ アーリヤ人、ガンジス川上流域に進出(鉄器時代へ)…定住過程で 制成立： バラモン・クシャトリア・ヴァイシャ・シュードラの4身分→バラモン教確立・ジャータ(カースト)集団形成
小国家分立期	前6世紀～ コーサラ国・マガダ国などの都市国家がガンジス川流域に割拠 ウパニシャッド哲学の成立…輪廻転生からの解脱を解く
	前563年頃 仏教開祖 誕生…八正道により煩惱を捨て去る
	前549年頃 ジャイナ教開祖 誕生…苦行と不殺生
	前518年頃 アケメネス朝ダレイオス1世、インダス川上流域を属州とする

	基本用語解説	重要年代チェック	地域別年表	歴史資料
教科書関連資料 歴史資料				
第1部 諸地域の歴史的特質の形成				
p.31	〔画像〕	ハンムラビ法典碑		☞
p.33	〔画像〕	ロゼッタ=ストーン		☞
p.34	〔画像〕	ミケーネ城塞の獅子門		☞
p.34	〔画像〕	クシュ王国のメロエ遺跡		☞
p.39	〔画像〕	青銅貨幣		☞
p.41	〔画像・図〕	キープ		☞
p.51	〔図〕	科学の仕組み		☞
p.51	〔図〕	隋の対外関係		☞
p.52	〔図〕	東アジア諸国の都城		☞
p.52	〔図〕	唐と周辺諸国家との関係		☞
p.54	〔史料〕	杜甫「哀江頭」		☞

ページ	学 習 上 の 参 考 に 供 す る 情 報			備 考
	参照先	URL	概要	
31	自社ページ	自社ページURL	ハンムラビ法典碑の全体像	別紙1-4-2
33	自社ページ	自社ページURL	ロゼッタ＝ストーン	別紙1-4-3
34	自社ページ	自社ページURL	ミケーネ城塞の獅子門	別紙1-4-4
34	自社ページ	自社ページURL	クシュ王国のメロエ遺跡	別紙1-4-5
39	自社ページ	自社ページURL	青銅貨幣の比較	別紙1-4-6
41	自社ページ	自社ページURL	キープ	別紙1-4-7
51	自社ページ	自社ページURL	科挙の仕組みを示した図	別紙1-4-8
51	自社ページ	自社ページURL	隋の対外関係を示した図	別紙1-4-9
52	自社ページ	自社ページURL	東アジア諸国の都城図	別紙1-4-10
52	自社ページ	自社ページURL	唐と周辺諸国家との関係を示した図	別紙1-4-11
54	自社ページ	自社ページURL	杜甫「哀江頭」より一部	別紙1-4-12-1 別紙1-4-12-2
56	自社ページ	自社ページURL	仏教の伝播を示した地図	別紙1-4-13
58	自社ページ	自社ページURL	『ラーマーヤナ』の挿絵	別紙1-4-14
59	自社ページ	自社ページURL	ガンジス川での沐浴	別紙1-4-15
60	自社ページ	自社ページURL	銅鼓	別紙1-4-16
61	自社ページ	自社ページURL	アンコール＝ワット 回廊の浮き彫り	別紙1-4-17
64	自社ページ	自社ページURL	パルテノン神殿とその彫刻	別紙1-4-18
72	自社ページ	自社ページURL	ローマによる支配体制を示した図	別紙1-4-19
74	自社ページ	自社ページURL	最高神祇官の姿のアウグストゥス像	別紙1-4-20
76	自社ページ	自社ページURL	パンと見世物を示した史料	別紙1-4-21-1 別紙1-4-21-2
77	自社ページ	自社ページURL	キリスト教の伝播を示した地図	別紙1-4-22
78	自社ページ	自社ページURL	マザッチョ「聖三位一体」(部分)	別紙1-4-23
80	自社ページ	自社ページURL	スンナ派とシーア派の比較	別紙1-4-24
84	自社ページ	自社ページURL	ゲルマン人の社会を示した史料(タキトゥス『ゲルマニア』)	別紙1-4-25-1 別紙1-4-25-2
86	自社ページ	自社ページURL	中世の西ヨーロッパ世界・東ヨーロッパ世界の特徴を示した表	別紙1-4-26
89	自社ページ	自社ページURL	バイユー刺繍画	別紙1-4-27
94	自社ページ	自社ページURL	ガズナ朝とゴール朝のインド進出を示した地図	別紙1-4-28
98	自社ページ	自社ページURL	イェルサレムの旧市街	別紙1-4-29
99	自社ページ	自社ページURL	写本絵画	別紙1-4-30

ページ	学習上の参考に供する情報			備考
	参照先	URL	概要	
101	自社ページ	自社ページURL	カトリックの階層制組織を示した図	別紙1-4-31
109	自社ページ	自社ページURL	マグナ=カルタの条文	別紙1-4-32-1 別紙1-4-32-2
110	自社ページ	自社ページURL	クレシーの戦い	別紙1-4-33
110	自社ページ	自社ページURL	百年戦争とバラ戦争に関する系図	別紙1-4-34
113	自社ページ	自社ページURL	ゴシック様式の構造を示した図	別紙1-4-35
116	自社ページ	自社ページURL	「清明上河図」	別紙1-4-36
121	自社ページ	自社ページURL	元の支配構造を示した図	別紙1-4-37
123	自社ページ	自社ページURL	六諭	別紙1-4-38-1 別紙1-4-38-2
124	自社ページ	自社ページURL	明初の朝貢世界を示した図	別紙1-4-39
125	自社ページ	自社ページURL	北虜南倭を示した図	別紙1-4-40
127	自社ページ	自社ページURL	「坤輿万国全図」	別紙1-4-41
130	自社ページ	自社ページURL	16世紀初めにヨーロッパでつくられた世界地図	別紙1-4-42
131	自社ページ	自社ページURL	アメリカ大陸とヨーロッパの交流を示した図	別紙1-4-43
134	自社ページ	自社ページURL	イマームのモスクのタイル	別紙1-4-44
135	自社ページ	自社ページURL	サファヴィー朝時代の絨毯	別紙1-4-45
135	自社ページ	自社ページURL	シク教の黄金寺院	別紙1-4-46
139	自社ページ	自社ページURL	「琉球交易港図屏風」	別紙1-4-47
140	自社ページ	自社ページURL	円明園	別紙1-4-48
142	自社ページ	自社ページURL	ルネサンス期の美術	別紙1-4-49
145	自社ページ	自社ページURL	バロック様式の美術	別紙1-4-50
156	自社ページ	自社ページURL	サンサーシ宮殿	別紙1-4-51
158	自社ページ	自社ページURL	18世紀フランスのサロン	別紙1-4-52
165	自社ページ	自社ページURL	北アメリカ植民地の変遷を示した地図	別紙1-4-53
166	自社ページ	自社ページURL	ペイン『コモン=センス』	別紙1-4-54-1 別紙1-4-54-2
169	自社ページ	自社ページURL	人権宣言	別紙1-4-55-1 別紙1-4-55-2
170	自社ページ	自社ページURL	「ナポレオンの戴冠式」	別紙1-4-56
179	自社ページ	自社ページURL	イギリスとアイルランド	別紙1-4-57
181	自社ページ	自社ページURL	ビスマルクの鉄血演説	別紙1-4-58-1 別紙1-4-58-2
184	自社ページ	自社ページURL	明白なる運命	別紙1-4-59
185	自社ページ	自社ページURL	ゲティスバーグ演説	別紙1-4-60-1 別紙1-4-60-2

ページ	学習上の参考に供する情報			備考
	参照先	URL	概要	
187	自社ページ	自社ページURL	写実主義絵画	別紙1-4-61
191	自社ページ	自社ページURL	オスマン帝国憲法	別紙1-4-62-1 別紙1-4-62-2
193	自社ページ	自社ページURL	グレートゲーム	別紙1-4-63
194	自社ページ	自社ページURL	エンフィールド銃	別紙1-4-64
195	自社ページ	自社ページURL	チュラロンコン	別紙1-4-65
198	自社ページ	自社ページURL	西太后	別紙1-4-66
199	自社ページ	自社ページURL	大阪砲兵工廠と江南製造局を比較した表	別紙1-4-67
199	自社ページ	自社ページURL	洋務運動期のおもな工場と学校を示した地図	別紙1-4-68
202	自社ページ	自社ページURL	エッフェル塔	別紙1-4-69
210	自社ページ	自社ページURL	義和団戦争に出兵した8カ国連合軍	別紙1-4-70
217	自社ページ	自社ページURL	イギリスの戦時外交を示した図	別紙1-4-71
221	自社ページ	自社ページURL	「我々が失うもの」	別紙1-4-72
231	自社ページ	自社ページURL	フセイン・マクマホン協定とバルフォア宣言	別紙1-4-73-1 別紙1-4-73-2
232	自社ページ	自社ページURL	世界恐慌を紹介する動画	別紙1-4-74
234	自社ページ	自社ページURL	ナチ党のプロパガンダポスター	別紙1-4-75
241	自社ページ	自社ページURL	カイロ会談を紹介する動画	別紙1-4-76
244	自社ページ	自社ページURL	チャーチルの「鉄のカーテン」演説を紹介する動画	別紙1-4-77
245	自社ページ	自社ページURL	デーニッツとクランツビューラーのやりとりを示す史料	別紙1-4-78-1 別紙1-4-78-2
245	自社ページ	自社ページURL	クランツビューラーの意図を示す史料	別紙1-4-79-1 別紙1-4-79-2
246	自社ページ	自社ページURL	中華人民共和国の記念切手	別紙1-4-80
251	自社ページ	自社ページURL	ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の発足を示す史料（シューマン＝プラン）	別紙1-4-81-1 別紙1-4-81-2
252	自社ページ	自社ページURL	ド＝ゴール内閣成立を紹介する動画	別紙1-4-82
253	自社ページ	自社ページURL	「ベルリンの壁」の建設	別紙1-4-83
257	自社ページ	自社ページURL	ベトナム戦争「安全への逃避」	別紙1-4-84
258	自社ページ	自社ページURL	キングの演説より一部	別紙1-4-85-1 別紙1-4-85-2
262	自社ページ	自社ページURL	ドル＝ショックの新聞記事	別紙1-4-86
267	自社ページ	自社ページURL	マンデラ	別紙1-4-87
274	自社ページ	自社ページURL	ヨーロッパ統合の歩みを示した地図	別紙1-4-88
275	自社ページ	自社ページURL	イラク戦争	別紙1-4-89



石碑にはバビロン第1王朝のハンムラビ王が制定した法典が楔形文字で刻まれている。1902年、フランスの探査隊がスサで発見した。高さ2.25m、直径0.6m。



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.31

ハンムラビ法典碑

YVHA600280
提供元：ユニフォトプレス



ナポレオンのエジプト遠征中に、アレクサンドリア東方のロゼッタ(アラビア語でラシード)で発見された。上段に神聖文字、中段に民用文字、下段にギリシア文字の3種類で刻まれている。フランスのシャンポリオン(1790～1832)は、このギリシア文字を手がかりに、神聖文字の解読に成功した。



🗖️ 全画面モード

(教科書名入る) p.33
ロゼッタ=ストーン
YWH600300
提供元: ユニファクトプレス



王宮の正門とそれを飾るライオンの浮き彫り。巨大な城壁は軍事の関心の高さと王の能力の大きさを物語る。



🖥️ 全画面モード

(教科書名入る) p.34

ミケーネ城塞の獅子門

YWHAG00400
提供元：ユニフォトプレス



クシュ王国は前10世紀にナイル川上流に成立した黒人の黒人王国で、新王国の滅亡後、エジプトにも進出した。アッシリアの侵襲を受けて南方へ逃ぎ、メロエを都として築いた。エジプト文明の影響を強く受け、前3世紀からは王の墓である大小のピラミッドがメロエに建てられた。



🖥️ 全画面モード

(教科書名入る) p.34

クシュ王国のメロエ遺跡

YWHAG00500
提供元：ユニファクトプレス



商業の発展により、地域ごとに様々な青銅貨幣が出現した。戦国時代には刀銭は小刀、布銭は農具、蟻鼻銭は貝貨の形を模してつくられた。幕代になると、円形方孔の半両銭に統一され、その形はその後の貨幣の基本形となった。



全画面モード

(教科書名入る) p.39

青銅貨幣

YVWA600600
提供元：日本銀行金融研究所貨幣博物館



縄の結び方によって数字を示し、家畜と人口の調査をおこなった。
提供元：ユニフオトプレス

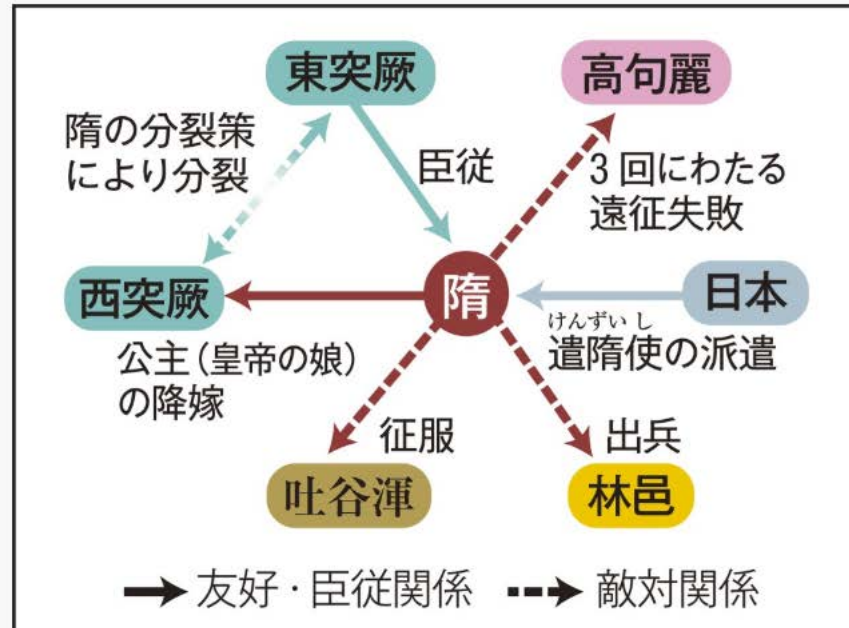
全画面モード

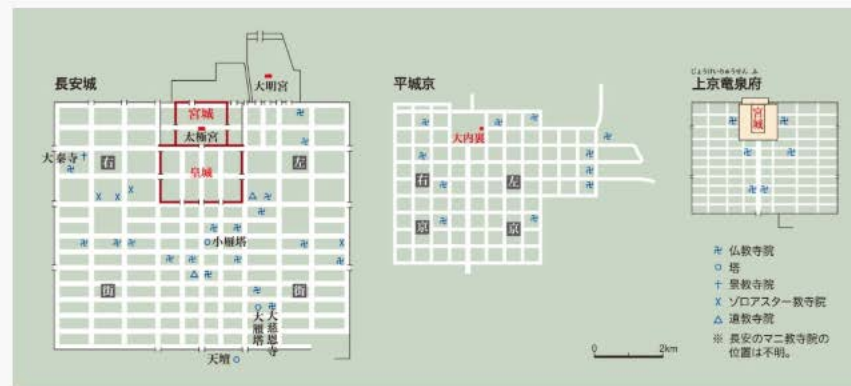
(教科書名入る) p.41

キープ

YWH/A600700







唐の都長安は、計画都市である。北側の中心に皇帝の住む宮城があり、都城全体が朱雀門から南に伸びる大通りを軸に左右対称になっている。日本の都城が長安を模倣するようになったのは、710年に遷都した藤原京からであり、この頃から唐の制度も本格的に導入しはじめている。唐の都城制は周辺諸国にとって模範的であり、こぞって模倣された。



全画面モード

(教科書名入る) p.52

東アジア諸国の都城

YWHAG01000

唐の皇帝

ウイグル 突厥 渤海 新羅 日本 チャンパー シュリーヴィジャヤ カンボジア(真臘) 南詔 吐蕃 アッバース朝

タラス河畔の戦い

冊封国 朝貢国 姻戚関係をもった国

朝貢国には貢物を上まわる品物が下賜され(国賜)、内政・外交への干渉はおこなわれなかったが原則だった。爵位・官職を与えられ君臣関係を結ぶ冊封国、朝貢だけで冊封を受けない朝貢国(番官)、公主の降嫁した国など、結びつき方は多様であった。

全画面モード

(教科書名入る) p.52

唐と周辺諸国家との関係

YVHA601100

杜甫「哀江頭」



【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

杜甫が、人々の遊樂の地となっていた長安城の東部の曲江で詠んだ作品。亡くなった楊貴妃の華やかさを思い出しつつ、安史の乱で変わり果てた長安の姿を嘆き、世の無常を哀しんでいる。この場面では、高中の女官達が扇に乗り矢を放っている様子が写されている。

[テキストファイル / 1.28KB]



プレビュー 全画面モード

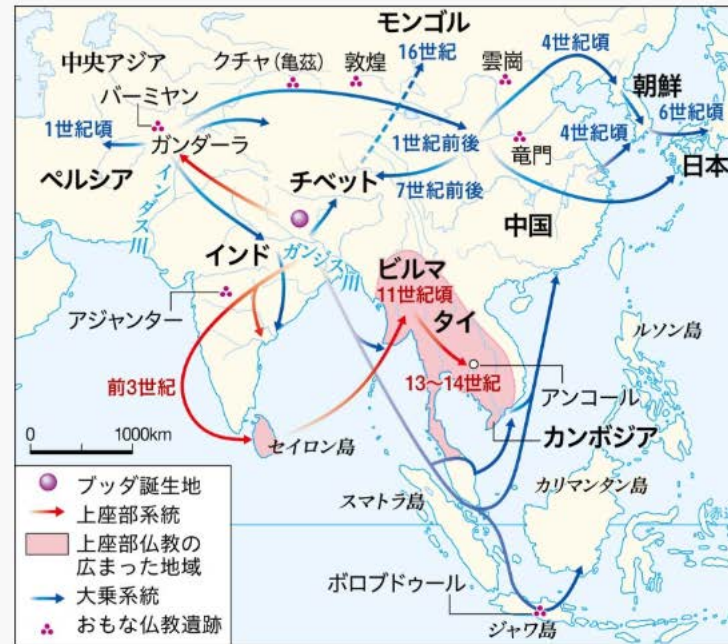
(教科書名入る) p.54
杜甫「哀江頭」

YVHD500200
提供元：黒川洋一注『中国詩人選集10 杜甫下』

昭陽殿裏第一人
同車隨侍君側
華前才人帶弓箭
白馬嚼齧黃金勒
翻身向大仰射雲
一笑正墜雙飛翼
明眸皓齒今何在

昭陽殿裏（しょうようでんり） 第一人
輩（れん）を同じくし君に隨（したが）い君側（くんそく）に侍す
輩前（れんぜん）の才人は弓箭（きゅうせん）を帯び
白馬は嚼齧（しゃくげつ）す 黄金の勒（くつわ）
身を翻（ひるが）えし天に向かいて仰いで雲を射れば
一笑（いっしょう） 正に墜つ 双飛（そうひ）の翼
明眸（めいぼう） 皓齒（こうし） 今は何（いず）こにか在る

昭陽殿の中における君寵（くんちよう）第一人のお方（楊貴妃（ようきひ））は、天子と一つお車に召し、天子におとををし、天子のおそばに侍（はべ）っておられた。お車のさきばらいの女官たちは弓と矢とを腰にたばさみ、その真っ白な馬はこがねのくつわをかみくだいていた。彼女たちが身をひるがえし、天にむかってふりあおいで雲まに矢を放つと貴妃さまのにつこりされる御前に、ねらいたがわず夫婦鳥が射落とされてくるのであった。ああ、その明るいひとみ、白い歯のお方はいまだこにおられるのであるか。



全画面モード

(教科書名入る) p.56

仏教の伝播

YVHA601200



ヴィシュヌの化身ラーマ王子(中央)は景拝の対象として、インドだけではなく東南アジアにも浸透している。神通力をもつ漢ハヌマーン(左)は、『西遊記』に登場する孫悟空のモデルになったといわれる。(19世紀の挿絵より)



☒ 全画面モード

(教科書名入る) p.58

『ラーマヤナ』

YWH601300
発行元：ユニフォンプレス



ヒンドゥー教徒にとって、ガンジス川は聖なる川である。この川の水を浴びることで、信者は清浄な身体になると信じられている。



全画面モード

(教科書名入る) p.59

ガンジス川での沐浴

YWHAG01500
発行元：ユニファクトプレス



青銅製の片面木鼓。権力の象徴として、祭祀に用いられた。高さ78cm。



全画面モード

(教科書名入る) p.60

銅鼓

YWH66D1000
提供元：ユニファクトプレス



アンコール=ワットの回廊の様子
提供元：アフロ

全画面モード

(教科書名入る) p.61

アンコール=ワット 回廊の浮き彫り

YWHAG01700





パルテノン神殿(近景)
提供元：ユニフォトプレス

全画面モード

(教科書名入る) p.64
パルテノン神殿とその彫刻

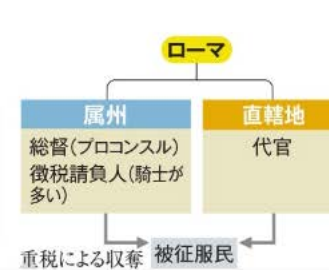
YWHAG01630



▼イタリア半島(分割統治)



▼イタリア半島以外(属州)



余画面モード

(教科書名入る) p.72

ローマによる支配体制

YVHA6D1900



最高神祇官(Pontifex Maximus)の姿をした皇帝アウグストゥス像。紀元前12年以降の制作。ローマ皇帝が宗教上の最高指導者でもあることを示す。ローマ市民の正装であるトガを纏っている。



全画面モード

(教科書名入る) p.74

最高神祇官の姿のアウグストゥス像

YWH4662100
提供元：アフロ

パンと見世物

TXT

【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

(テキストファイル / 860byte)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.76
パンと見世物
YWH0500300
提供元：古山正人はか編訳『西洋古代史料集』

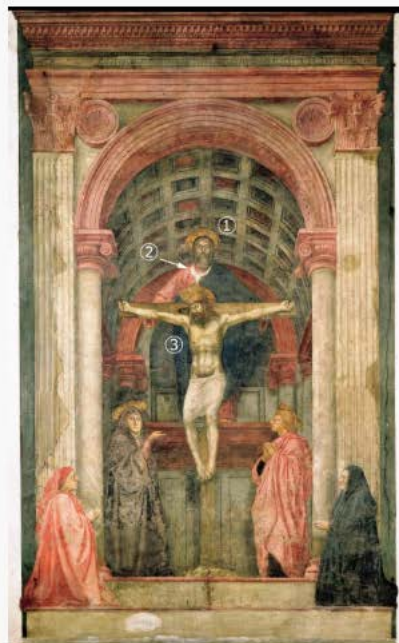
【トラヤヌス帝という】元首は、確かに舞台、円形競技場、闘技場の役者やほかの演技者たちをなぞりにすることはなかった。というのは、彼は以下のようなことを熟知するところの人であった——ローマの民衆はとりわけ2つの事、つまり穀物と見世物で掌握されること。統治とは生身目な事と同様に選挙によって承認されること。…見世物に比べれば食糧贈与はそれほど熱心に求められるわけではないこと。そして、食糧贈与によってはただ穀物配給に与かる民衆が各々個々別々に満たされるにすぎないが、見世物では民衆が一同となって懐柔されることである。



全画面モード

(教科書名入る) p.77
キリスト教の伝播

VVHA602200



父なる神①、神から出た聖霊(白い鳩の姿で描かれている)②、神の子イエス③を一体的に配置している。

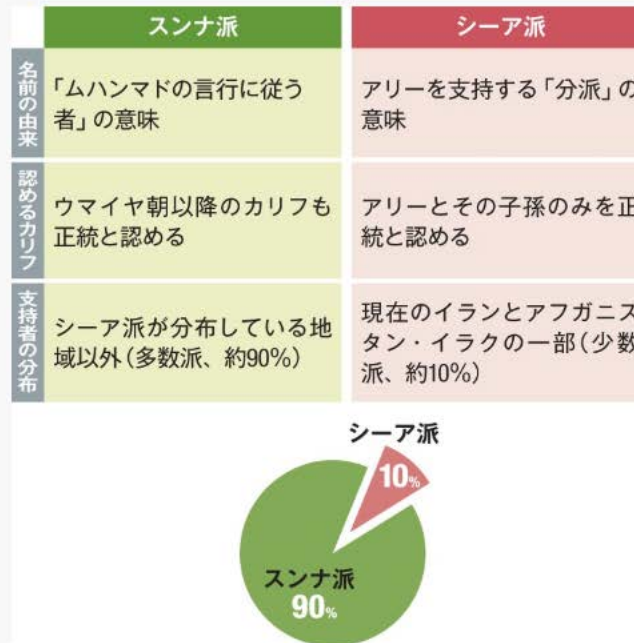


🖥️ 全画面モード

(教科書名入る) p.78

マザッチョ「聖三位一体」(部分)

YVHA602300
提供元：ユニフォプレス



全画面モード

(教科書名入る) p.80

スンナ派とシーア派

YVHA6D2400



ゲルマン人の社会

 **【プレビュー】** もしくは
【全画面モード】 で
閲覧できます。

(テキストファイル / 552byte)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.84
ゲルマン人の社会
YWH0500400
提供元：江上 雄夫 監修 『新訳世界史史料・名書集』

タキトゥス『ゲルマニア』

小事は首長たちが協議し、大事は全体の者が協議する。…偶然また不意のことが突然おこらない限り、彼らは一定の日々、すなわち新月または満月の頃に集会する。…彼ら〔集会者〕は、もしその意見が気に入らぬ時はざわめきを以て拒絶する。もし気に入ればフラメア〔一種の投槍〕を打ち合わせる。武器によって賞讃することは、最も名誉ある賛成の仕方である。（第11章）

	西ヨーロッパ世界	東ヨーロッパ世界
おもな民族	ゲルマン系	スラヴ系
おもな宗派	ローマ＝カトリック教会	ギリシア正教会
教皇と皇帝の地位	教皇権が皇帝権から独立、やがて上回る	皇帝は神の代理人

全画面モード

(教科書名入る) p.86

中世の西ヨーロッパ世界・東ヨーロッパ世界の特徴

YVHA6D2500





バイユー刺繍画①

バイユー刺繍画には、ウィリアムによるノルマン＝コンクエストの一連の流れが描写されている。図は、凶器のように現れたハレー警鐘(上)に驚くイングランドの人々(左)と、ウィリアムと対決することになるイングランド王(右端)。

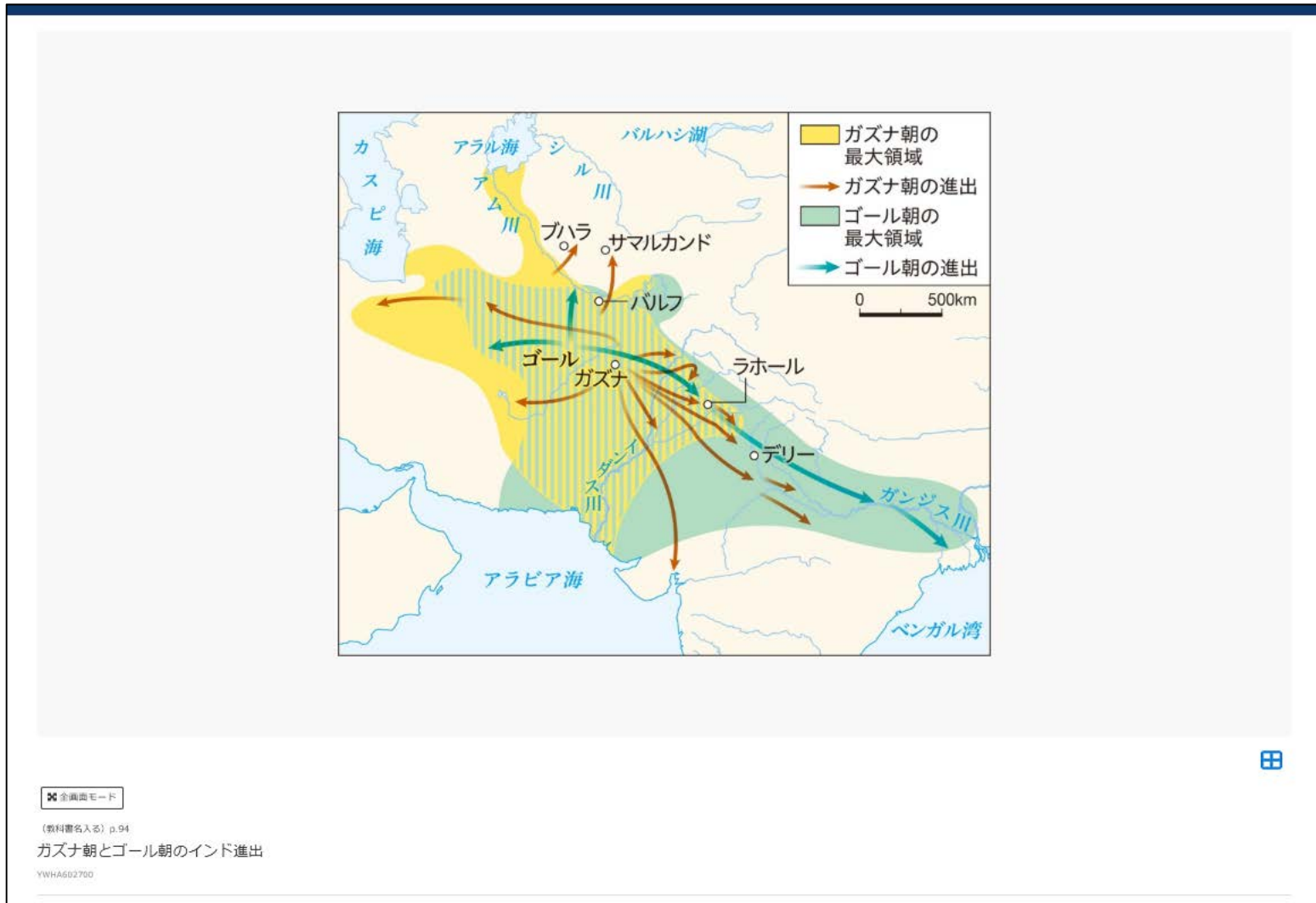
全画面モード

(教科書名入る) p.89

バイユー刺繍画

YWH A602600
解読元：ユニフォトプレス





ムスリム地区

キリスト教徒地区

ユダヤ教徒地区

アルメニア教徒地区

ヘロデ門
ダマスクス門
新門
聖墳墓教会
岩のドーム
嘆きの壁
シオン門
ヤッファール門
ダヴィデの塔

ライオン門
ゲッセマネ教会
黄金門
アクサー=モスク
ハラム = アッシャリーフ (神殿の丘)
糞門

☪ イスラーム教のモスク
✝ キリスト教の教会
★ ユダヤ教のシナゴーク

エルサレム旧市街(地図)

ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教、3つの一神教すべてにとっての聖地であるエルサレムは、共存と対話の舞台にも、対立の舞台にもなってきた。旧市街は16世紀前半にオスマン帝国によって再築された城壁にとりかまれている。その内部には各宗派、各教派ごとに5つの居住区に分かれている。神殿の丘(旧市街の南東)、ユダヤ教徒地区(神殿の丘の西壁の西側)、キリスト教徒地区(西)、ムスリム地区(北東)、アルメニア教徒地区(南西)の5地区である。

全画面モード

(教科書名入る) p.98

エルサレムの旧市街

YVHA6D2800



全画面モード

(教科書名入る) p.99

写本絵画

YVHA602900
資料元：アフロ





マグナ=カルタの条文



【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

(テキストファイル / 2.5kB)



プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.109

マグナ=カルタの条文

YWH0500600
提供元：江上 渡太郎『新訳世界史史料・名書集』

大憲章（マグナ=カルタ）

第1条 まず第一に、朕は、イングランドの教会は自由であり、その権利を減ずることなく、その自由をおかされることなく有すべきことを、神に容認し、この朕の特権状によって、朕および朕の後継者のために永久に確認した。……

第12条 いかなる軍役免除金①また御用金②も、王国全体の協議によるものでなければ、朕の王国において課せられるべきではない。ただし、朕の身体を請け戻し③、朕の長子を騎士に叙し④、朕の長女を一度結婚せしめる場合は除かれる。そしてこれらについても正当な御用金のみが課せられるべきである。またこのことはロンドン市からの御用金についてもあてはまるべきである。

第13条 またロンドン市は、すべてのその古来の特権と、水路陸路を問わず自由な関税とを有すべきである。さらに朕はすべてのほかの都市、市邑、町、港がすべてその特権と自由な関税とを有すべきことを望み、また認可する。

第16条 いかなる自由人も、騎士の封、またほかのいかなる自由な封の保有についても、その封に付帯する以上の奉仕をおこなうことを強制されることはない⑤。

第39条 いかなる自由人も、彼と同輩の者の判決によるか、または国法による以外には、逮捕され、監禁され、また自由を奪われ、また法の保護下におかれ、また追放することはなく、彼に対して軍勢を派遣することはない。

第40条 朕はいかなる者に対しても正義と司法とを売らず、またいかなる者に対しても正義と司法とを拒否し遅延せしめることはない。

【注】

①主にしたがって戦いにおもむく代わりに出す金。

②主に対する臨時の献金。

③主が捕虜になった際、身代金を払うため金が必要な場合を指す。

④主の長子が騎士叙任の式をあげるのに資金が必要な場合を指す。

⑤封建家臣は主君から封（封土、知行）を与えられる代わりに、軍役のほか種々の奉仕（御用金を出したり、主君のひらく法廷に出席する等）をなすべきことが慣習的に定まっていたのであるが、この条は、王がそれ以上の義務を強制しないという意味。

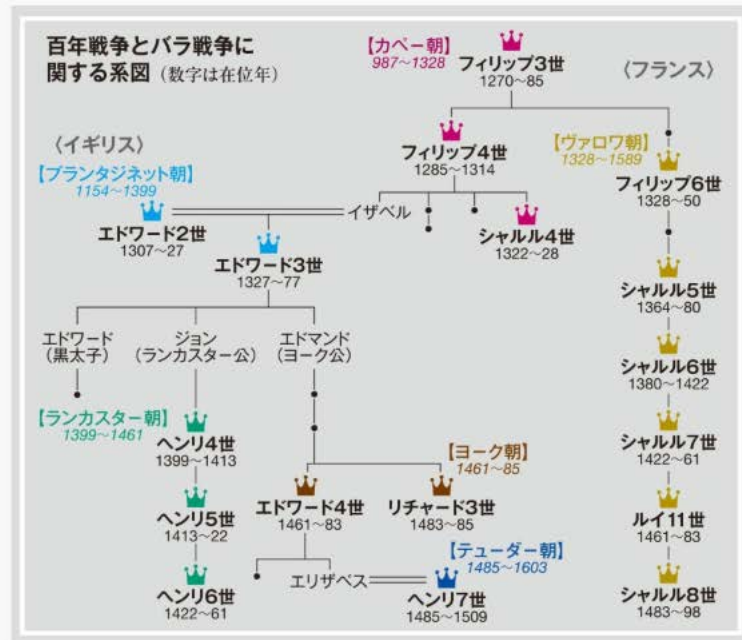


☒ 全画面モード

(教科書名入る) p.110

クレシーの戦い

YWHAG03100
発行元：ユニファクトプレス



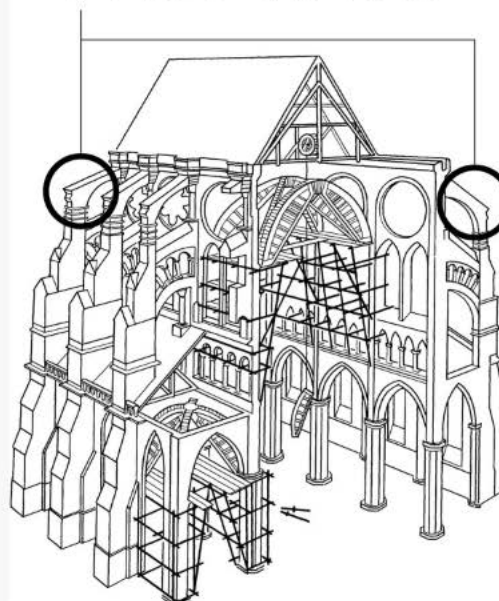
全画面モード

(教科書名入る) p.110

百年戦争とバラ戦争に関する系図

YWHA603200

フライング=バットレス



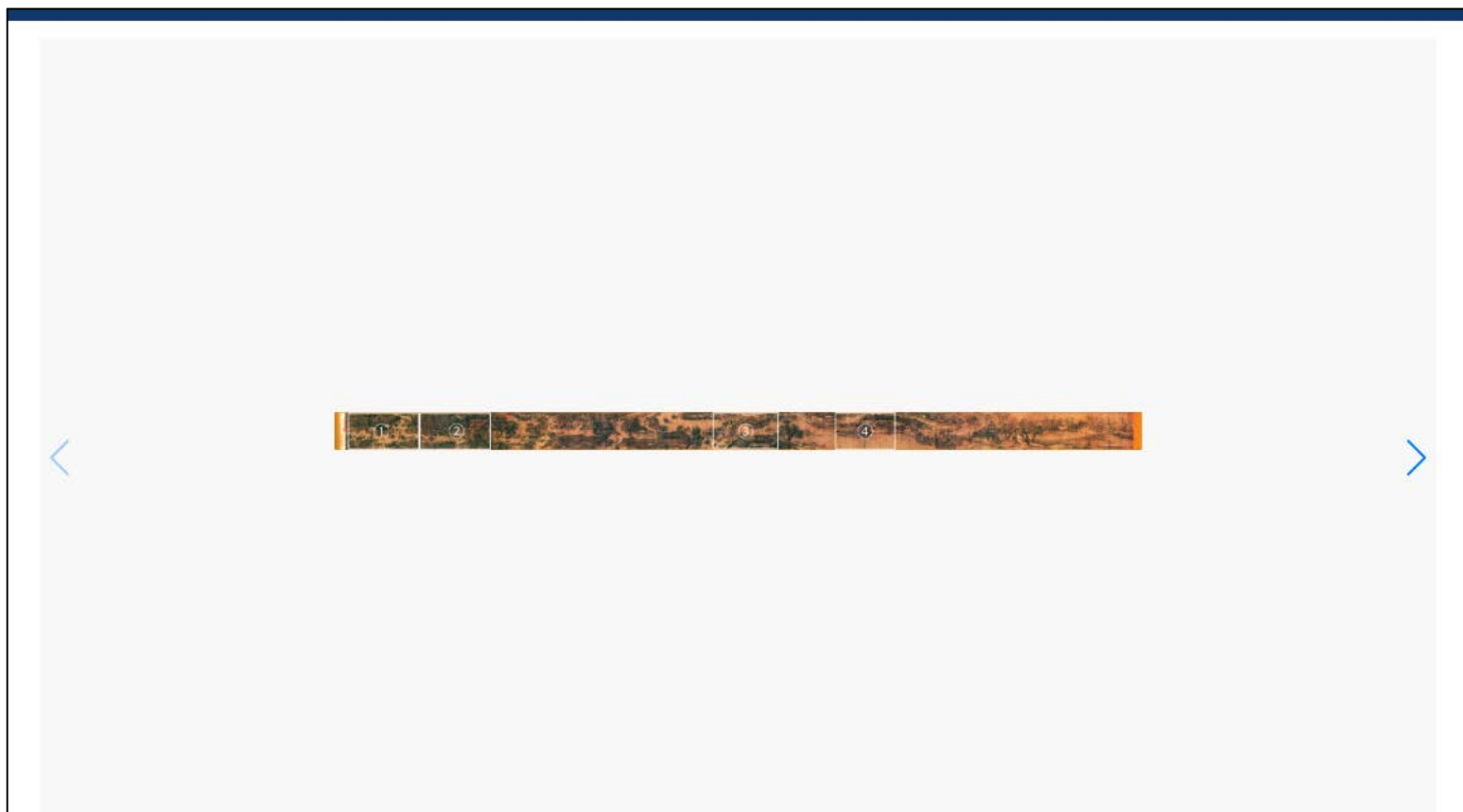
フライング=バットレス(飛梁)と呼ばれる。外壁を外側から支えるアーチ状の梁によって、建築の高層化が可能となった。



🗨️ 全画面モード

(教科書名入る) p.113
ゴシック様式の構造

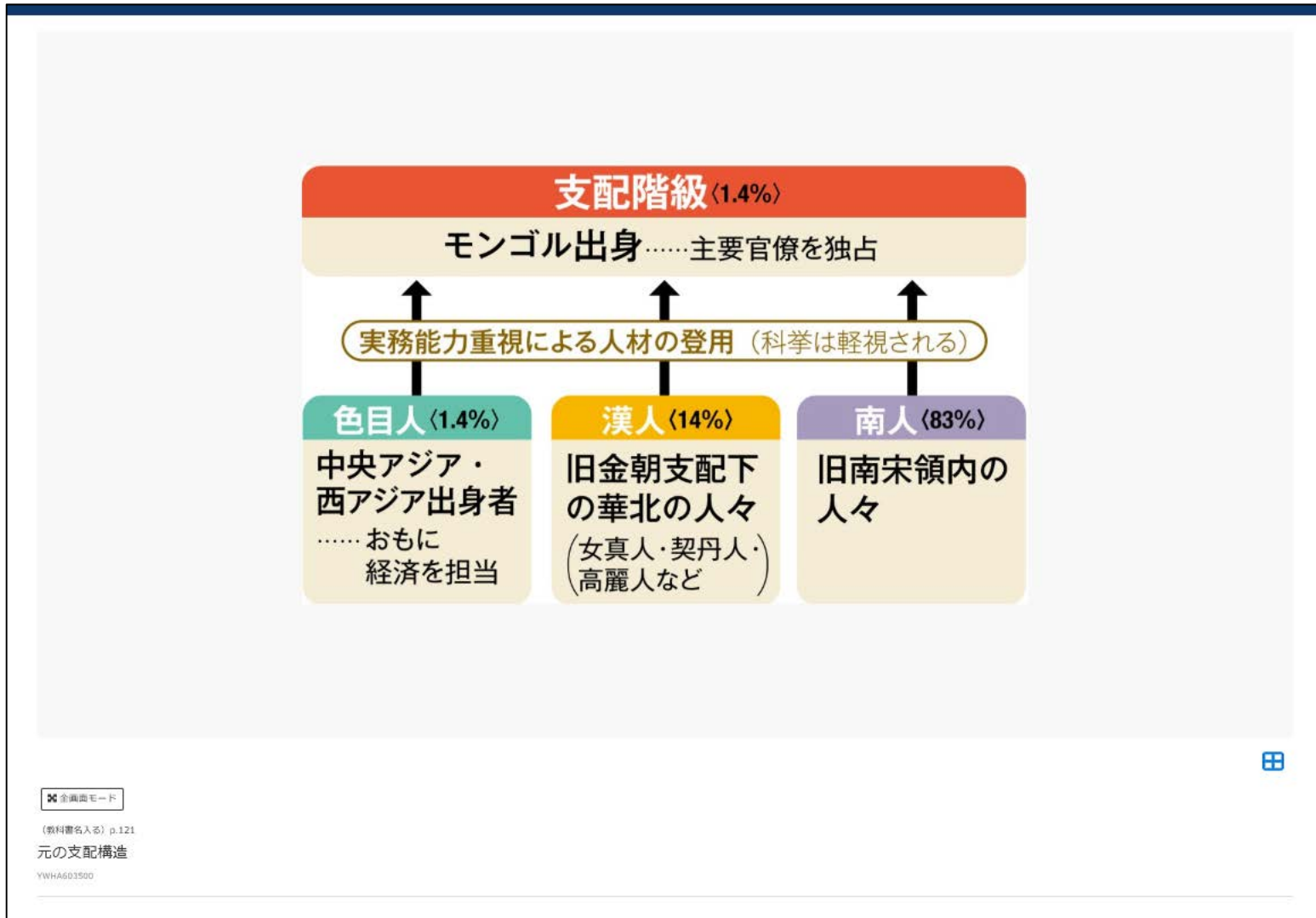
YWHAG03300



「清明上河図」
本画は北京の故宮博物院に保存されているもの。

全画面モード

(教科書名入る) p.116
「清明上河図」
YWHAG03400
提供元：ユニファクトプレス



六論

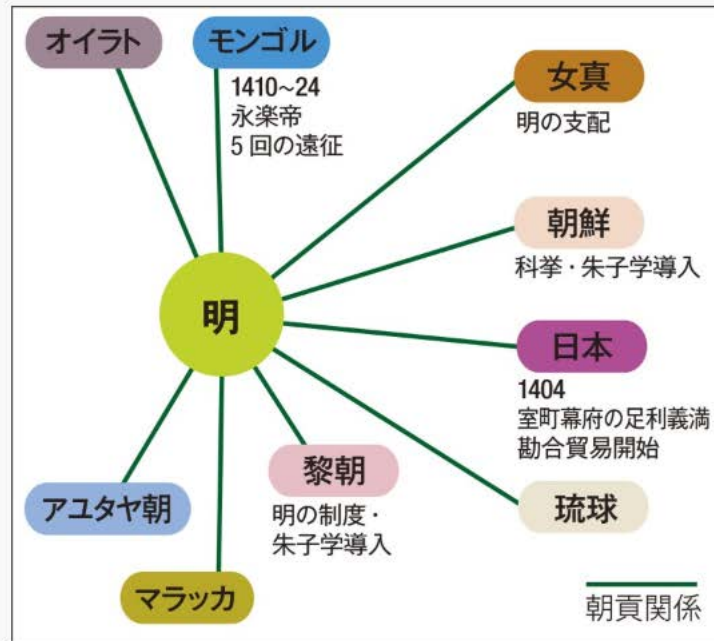
 **【プレビュー】** もしくは
【全画面モード】 で
閲覧できます。

(テキストファイル / 217byte)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.123
六論
YWH0500700

- 1 父母に孝順なれ
- 2 自 upper を尊敬せよ
- 3 郷里に礼隆（わぼく）せよ
- 4 子孫を教訓せよ
- 5 おのおの生理（生業）に安んじ
- 6 非為（ひい）をなすことなかれ

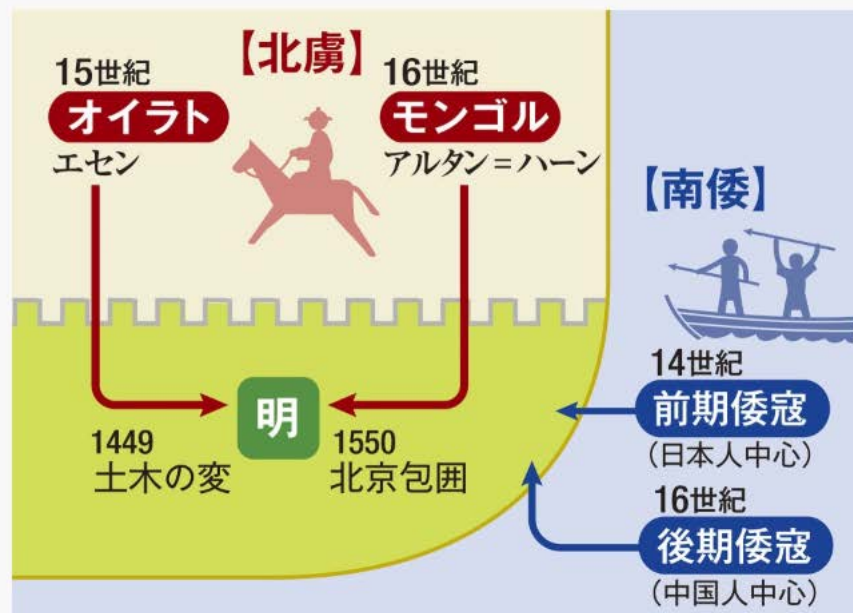


全画面モード

(教科書名入る) p.124
明初の朝貢世界

YVHA603700





全画面モード

(教科書名入る) p.125

北虜南倭

YVHA6D380D





宮城県図書館所蔵

全画面を拡大

(教科書名入る) p.127

「坤輿万国全图」

YWHA603900





アメリカ(亜細亞)をはじめて独立した大陸として表している。ドイツ人ヴァルトゼーミュラーによって作製された。

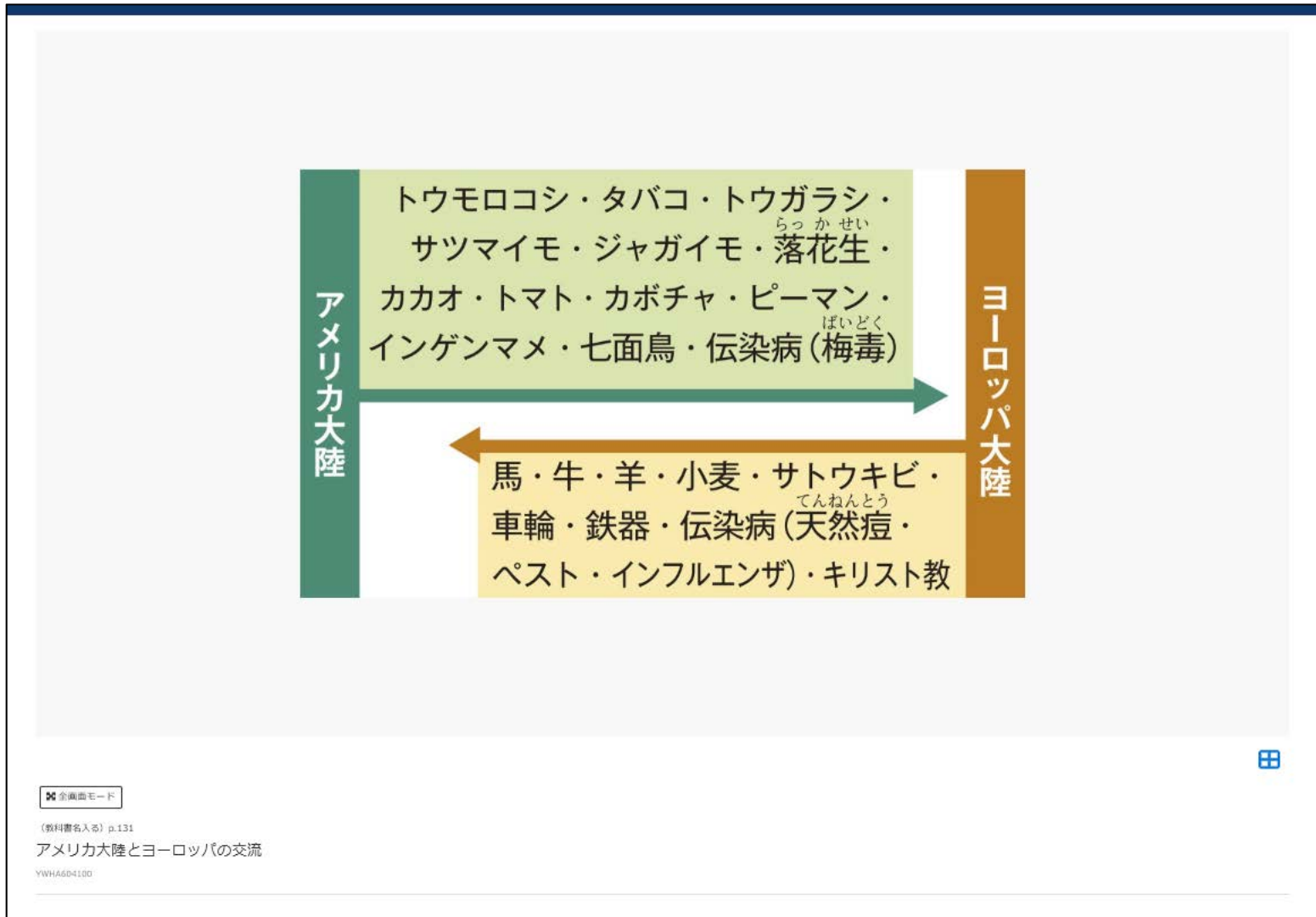


全画面モード

(教科書名入る) p.130

16世紀初めにヨーロッパでつくられた世界地図

YWHAGD-0000
提供元：ユニフォトプレス



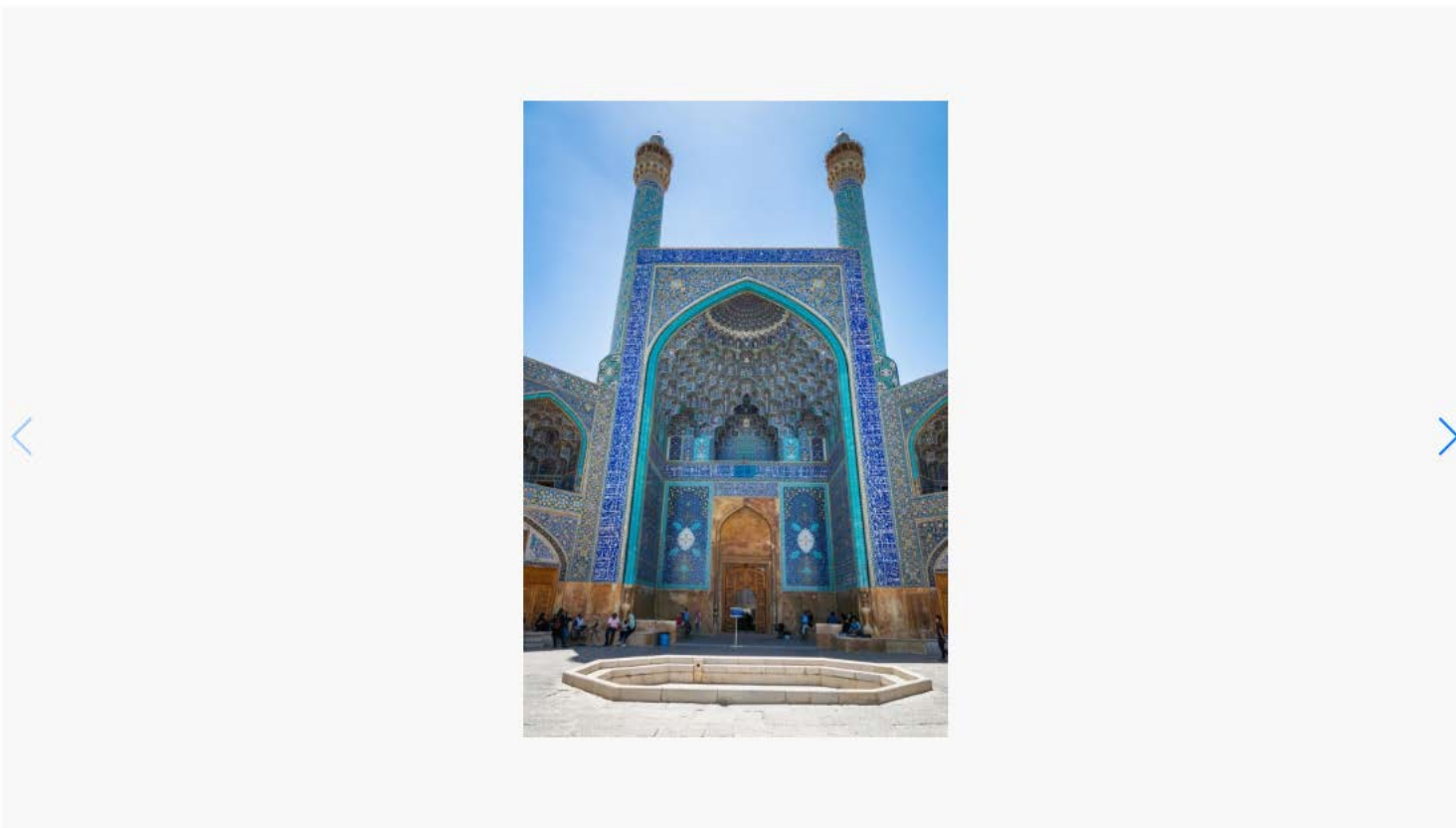
☒ 全画面モード

(教科書名入る) p.131

アメリカ大陸とヨーロッパの交流

YVHA604100





「イマームのモスク」(正面入口の門)



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.134

イマームのモスクのタイル

YWH604200
提供元: ユニフォンプレス



全画面モード

(教科書名人) p.135

サファヴィー朝時代の絨毯

YWH4604300

提供元：ユニオトプレス





17世紀初めに完成された、インド北西部のアムリットサルにあるシク教の総本山。黄金寺院の名称は、19世紀初めに教典の章句を刻んだ金箔でおおわれたことに由来する。



☒ 全画面モード

(教科書名入る) p.135

シク教の黄金寺院

YWH604420
発行元：ユニフォトプレス



「琉球交易港図屏風」

「琉球貿易図屏風」と同様、那覇港の繁栄を描いている。

🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.139

「琉球交易港図屏風」

YWHAG04500
提供元：横浜市美術館





雍正帝から乾隆帝の時期到北京郊外に建設された離宮。バロック様式の西洋建築を旨む広大な庭園であったが、第2次アヘン戦争の際の英仏軍の略奪・破壊によって廃墟と化した。



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.140

円明園

YWHAGD-4600

提供元：ユニフォトプレス



サンタ=マリア大聖堂(フィレンツェ)

右側にみえるのが、ブルネレスキが完成させたドーム(木円蓋)。
提供元：ユニフォトプレス

🗨️ 全画面モード

(教科書名入る) p.142

ルネサンス期の美術

YWH4604790





ルーベンス「聖フランシスコ=ザビエルの奇蹟」

カトリック改革を背景に、バロック様式は民衆の信仰に訴えるためにわかりやすい題材を用いた。画ではザビエルが奇蹟をおこす様子が描かれ、背景には、異教に対するキリスト教の攻撃も描かれている。

全画面モード

(教科書名入る) p.145

バロック様式の美術

Y11H160-0800
提供元：ユニフォトプレス





サンズーシとは、フランス語で「憂いのない」という意味。プロイセン王フリードリヒ2世がベルリン郊外のポツダムに建てた夏の別荘で、ロココ様式の建築物。階段式の前庭の葡萄棚が美しい。



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.156

サンズーシ宮殿

YWH45D-0900
提供元：ユニフォトプレス



サロンは、私人の寮の客間でもよびおされた。主人は女性も多く、知的で洗練された会話がかわされ、非合法の出版物と並んで、フランス世論の興隆地となった。



全画面モード

(教科書名入る) p.156

18世紀フランスのサロン

YVHA05050
発行所：ユニオットプレス

1713年(ユトレヒト条約後)

イギリス領
フランス領
スペイン領

0 1000km

カナダ
ケベック
ニューイングランド
アカディア
モントリオール
フィラデルフィア
ボストン
プリマス
ニューヨーク
ヴァージニア
植民地
フロリダ

ニューファンドランド
ニューイングランド
アカディア
ボストン
プリマス
ニューヨーク
ヴァージニア
植民地
フロリダ

太平洋
大西洋

1713年(ユトレヒト条約後)

全画面モード

(教科書名入る) p.165
北アメリカ植民地の変遷
YWH605100

The map illustrates the territorial divisions in North America following the Treaty of Utrecht in 1713. The legend indicates three main territories: British (pink), French (blue), and Spanish (yellow). The British territory includes Newfoundland, the eastern coast of Canada (Acadia), and the eastern United States (Virginia Colonies). The French territory covers the Great Lakes region, the St. Lawrence Valley (Montreal), and the Mississippi River valley. The Spanish territory encompasses the southwestern United States, Mexico, and Florida. Major cities like Boston, Philadelphia, and New York are marked. The map also shows Hudson Bay to the north and the Pacific and Atlantic Oceans.

ペイン『コモン=センス』

TXT  【プレビュー】もしくは【全画面モード】で閲覧できます。

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.166
ペイン『コモン=センス』
YWHDS00800
提供元：江上波天監修『新訳世界史史料・名著集』

(テキストファイル / 867byte) 

ペイン『コモン=センス』

[元の画面に戻る](#)

イギリスの保護下にあることによってわれわれが蒙る害と不利益とは無数にある。……少しでもイギリス本国に服従しまた従属していれば、ヨーロッパの戦争や紛争にわれわれの大陸がまきこまれることになる。……ヨーロッパはわれわれの貿易市場だから、その一部分とたたよった関係をもつべきではない。ヨーロッパの紛争から身を避けることがアメリカの真の利益である。……私は、はっきりと積極的に、そして良心的に次のことを確信している。それはイギリスから分離独立することがこの大陸の真の利益であって、それ以外のすべてのことは一時的なつきはき細工に過ぎず、決して永続的な幸福をもたらさないということである。

人権宣言

 **【プレビュー】 もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。**

【テキストファイル / 1.89KB】

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.169

人権宣言

YWH0500900
提供元：江上 波太郎 著『新訳世界史史料・名書集』

人権宣言（抜粋、1789年）

第1条

人間は自由かつ権利において平等なものと生まれ、また、存在する。社会的な差別は、共同の利益にもとづいてのみ、設けることができる。

第2条

あらゆる政治的結合（国家）の目的は、人間の自然で時効により消滅することのない権利の保全である。それらの権利とは、自由・所有権・安全および圧制への抵抗である。

第3条

あらゆる主権の原理（起源・根源）は、本質的に国民のうち存する。いかなる団体、いかなる個人も、国民から明白に由来するのではない権威を、行使することはできない。

第4条

自由とは、他人を害することのないすべてをなすうることにある。したがって、各人の自然権は、社会の他の成員に同じ権利の享有を保障する限界以外に、限界をもたない。それらの限界は、法によってのみ定めることができる。

第5条

法は社会にとって有害な行為のみを禁じる権利を有する。法の禁止していないことからは、すべて妨げられることをえず、また、何人も法の命じていないことを行なうよう強制されることはない。

第6条

法は**恣意（一般意思）**の表現である。すべての市民は、自身で、またはその代表者を通じて、法の作成に参与する権利を有する。法は、市民を保護する場合であれ、処罰する場合であれ、すべての市民にたいし同一でなければならない。すべての市民は、法の眼からすれば平等であるから、その能力に応じて、また、その徳性と才能以外のいかなる差別もなく、平等にすべての公けの位階・地位・職務に就くことが許される。

第10条

何人も、その意見のゆえに、それが宗教上の意見であっても、その表明が法の定める公共の秩序を乱さないかぎり、平穩をおびやかされてはならない。

第11条

思想および意見の自由な伝達は、人間のもっとも貴重な権利の一つである。したがって、すべての市民は自由に語り、書き、印刷することができる。ただし、その自由の乱用に関し、法の定める場合においては、責任を負わなければならない。

第17条

所有権は神聖かつ不可侵の権利であるから、何人も、適法に確認された公共の必要が明白にそれを要求する場合であって、また、事前の公正な補償の条件の下でなければ、それを奪われることはない。



ダヴィッド作。ナポレオンが中央に立ち、皇后ジョゼフィーヌにみずから冠を授けようとしている。ローマ教皇はナポレオンのうしろに座っており、儀式の中心をなすのがナポレオンであることを示している。



☒ 全画面モード

(教科書名入る) p.170

「ナポレオンの戴冠式」

YVHA605200
提供元：ユニオトップレス

The map shows Great Britain and Ireland with various regions highlighted in different colors. Annotations include:

- イングランド・スコットランドより、プロテスタント系住民が入植** (Protestant settlers from England and Scotland)
- ケルト系** (Celtic) - pointing to Scotland and Wales
- グレートブリテン = 北アイルランド連合王国 (現イギリス)** (Great Britain = Northern Ireland Commonwealth Kingdom (present-day UK))
- アイルランド** (Ireland)
- イングランド・スコットランド** (England/Scotland)
- 北アイルランド (アルスター)** (Northern Ireland (Ulster))
- エディンバラ** (Edinburgh)
- 大西** (Atlantic Ocean)
- スコットランド** (Scotland)
- 北海** (North Sea)
- ベルファスト** (Belfast)
- マン島** (Manx)
- ダブリン** (Dublin)
- アイルランド (エール)** (Ireland (Eire))
- ウェールズ** (Wales)
- イングランド** (England)
- ロンドン** (London)
- ケルト系** (Celtic) - pointing to Ireland
- ケルト系 アイルランド人** (Celtic Irish)
- カトリック** (Catholic)
- アングロ=サクソン系 イングランド人** (Anglo-Saxon English)
- イギリス国教会など プロテスタント** (Church of England etc. Protestant)

Full screen mode button: 全画面モード

(教科書名入る) p.179
イギリスとアイルランド
YVWA605300

ビスマルクの鉄血演説



【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

(テキストファイル / 941byte)



プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.181

ビスマルクの鉄血演説

YWH0501000
提供元：歴史学研究会編『世界史科6』

ドイツが注目しているのはプロイセンの自由主義ではなくて、プロイセンの力にあります。バイエルンやヴェルテンベルク、バーデンは自由主義を欲しいままにしているでしょうが、それだからこそ、これらの諸邦国にプロイセンの役割を割り当てるものは誰もいないであります。プロイセンはすでに何度か好機を逃してきましたが、今こそ次の好機に向けて力を結集し、保持しておかねばなりません。ウィーン（会議）の諸条約によるプロイセンの国境は、健全な国家の営みのためには好都合なものではありません。現下の大問題が決められるのは、演説や多数決によってではなく——これこそが1848年と1849年の重大な誤りだったのですが——、まさに鉄と血によってなのです。



全画面モード

(教科書名入る) p.184

明白なる運命

YVHA605400
発行元：ユニフォトプレス

ゲティスバーグ演説

 **【プレビュー】 もしくは
【全画面モード】 で
閲覧できます。**

(テキストファイル / 1.91KB)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.185
ゲティスバーグ演説
YWH0501100
提供元：松本茂繁『アメリカを動かした演説ーリンカーンからオバマまで』

Four score and seven years ago our fathers brought forth on this continent, a new nation, conceived in Liberty, and dedicated to the proposition that all men are created equal. Now we are engaged in a great civil war, testing whether that nation, or any nation so conceived and so dedicated, can long endure... It is rather for us to be here dedicated to the great task remaining before us—that from these honored dead we take increased devotion to that cause for which they gave the last full measure of devotion—that we here highly resolve that these dead shall not have died in vain—that this nation, under God, shall have a new birth of freedom and that government of the people, by the people, for the people, shall not perish from the earth.

87年前、わたしたちの父祖は、この大陸に新しい国家を打ち立てました。自由の精神に生まれ、万人は生まれながらにして平等であるという理念に捧げられた、新しい国家を。
今、わたしたちは、大きな内戦のさなかにありますが、これは、わが国が、いや、わが国に限らず、このような自由の精神に生まれ、このような理念に捧げられた国家が、永続できるかどうか、試されているのにほかなりません。……わたしたちこそが、目の前に残された大事業に、ここで身を捧げるべきなのです。これは、名誉ある戦死者の意思を継ぎ、彼らが、最後の力をふりしぼり、身を捧げた大義に対して、いっそうの献身をするためであり、これらの勇者の死を無駄にしないと、ここで強く決意するためであり、この国家が神のもとに新たに自由の誕生を迎えるためであり、また、人民の、人民による、人民のための政治が、この地上から滅び去ることがないようにするためであります。



クールベ「石割り」

写実主義の「写実」は、ありのままの現実を写し取ることを意味している。個人の感情を重んじ、画家の主観を強調するロマン主義に対し、写実主義は客観的な事実のみを描こうとした。



全画面モード

(教科書名入る) p.187

写実主義絵画

YWHAG05500
提供元：ユニフォトレス

オスマン帝国憲法

 **【プレビュー】 もしくは
【全画面モード】 で
閲覧できます。**

(テキストファイル / 2.76KB)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.191
オスマン帝国憲法
YWH0501200
提供元：和谷亮輔『トルコにおける憲法発展の展開』

オスマン帝国憲法（抜粋）

前文

朕（ちん）〔アブデュルハミト2世〕の誉れ高き宰相ミドハト＝パシャかねてより朕の至高なる国家の権勢に生じている衰運は、国外からの災厄というよりもむしろ、国内の施政が正道から逸脱したことにより、そして臣民がその臣属する政府に抱く信頼を保障すべき絆が弛緩（しかん）し始めたことにより生じたのであり、故に、朕の尊父、故アブデュルメジト帝が、改革の原理及び尊きイスラーム法の神聖なる規定に適合するものとして、全臣民の生命、財産、尊厳、名譽の保障を宣言すべく、タンジマート勅令を交付したのであった。……朕の究極の目的は、……〔あらゆる〕階層の臣民が進歩の道を一致回結して進むという喜ばしきことにほかならない。この目的に到達するためには政府が健全で秩序だった原理を採用することが必要であるが、これはまた、……不正な行動、すなわち個人や少数者による専制的支配から生じる過誤や濫用についてはこれを廃絶し、そして我々の社会を構成するさまざまな民族が文明社会に相応しい権利と利益——これは万民が自由、公正、平等の恩恵を例外なく享受することであるが——これらの利益を保障することが条件である。この諸原則に必要なものは、法律と国政を合議と立憲制という正統な原理に依拠せしめるという確実に最善なことであるが故に、帝国議會を組織する必要性が、朕の即位宣言に関する朕の勅令で明言されたのであった。……

第3条

オスマンの至高なるスルタン位はイスラームの偉大なるカリフ位を有し、古来の方法に従ってオスマン家の最年長男子に帰する。

第4条

スルタン陛下はカリフ位によりイスラーム教の守護者であり、全オスマン臣民の元首にしてスルタンである。

第8条

オスマン国籍を有する者は全て、いかなる宗教及び宗派に属していようと、例外なくオスマン人と称される。

第10条

個人の自由はいかなる類の侵害からも保護される。何人も法律の定める理由及び手段を除いては、いかなる口実によっても処罰されない。

第11条

オスマン帝国の国教はイスラーム教である。この原則を遵守し、かつ人民の安全又は公序良俗を侵さない限り、オスマン帝国領において認められているあらゆる宗教行為の自由、及び諸々の宗教共同体に与えられてきた宗教的特権の従来通りの行使は、国家の保障の下にある。

第15条

教育は自由である。定められた法律を遵守する限りにおいて、オスマン人は公私の教育を施すことができる。

第17条

全てオスマン人は法律の前に平等であり、宗教宗派上の事項を除き、国に対する権利及び義務において平等である。

第18条

オスマン臣民が公務に任用されるためには、国家の公用語であるトルコ語を解することが条件である。

第113条

国土の一部で混乱の生じることが確実な証拠又は徴候が認められる場合、至高の「オスマン」政府は、その地域に限り、臨時に「戒厳」を布告する権利を有する。「戒厳」とは民政上の法律及び命令を一時的に停止することであり、「戒厳」下に置かれる地域の行政方法は、特別の法令によって定められる。国家の安全を侵害したことが、治安当局の確かな調査により明らかになった者を、神護の「オスマン」帝国領から追放し、退去させることは、ただスルタン陛下のみが行行使することのできる権限である。




グレートゲームの風刺画(1878年)

当時のアフガニスタン情勢を風刺している。アフガニスタンのシール=アリー王を、その「お友達」である熊(ロシア)とライオン(イギリス)が虎視眈々(こしたんたん)と狙っている。
提供元: GettyImages

🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.193
グレートゲーム
YVHA605600





エンフィールド銃
提供元：ユニフォトプレス

全画面モード

(教科書名入る) p.194
エンフィールド銃
YVHA605700

+



若くして王となり、近隣の欧米の植民地を視察して見聞を広め、法制度や軍事・教育・財政をはじめとする集権的で近代的な統治機構をつくりあげた。



全画面モード

(教科書名入る) p.195

チュラロンコン

YVWA6D5800
発行元：ユニクロオプレス



咸豊帝の側室。正室の東太后に対して西太后と呼ばれた。1861年、彼女の子が6歳で同治帝として即位すると東太后となり、権力を握った。

全画面モード

(教科書名入る) p.198

西太后

YWWAGD598D
発行所：ユニファクトプレス



	大砲(単位:門)	砲弾(単位:発)
大阪砲兵工廠	109	80,642
江南製造局	7	12,080

(三宅宏『大阪砲兵工廠の研究』、トーマス・L・ケネディ〈細見和弘訳〉『中国軍事工業の近代化——太平天国の乱から日清戦争まで』より作成)

日本の大阪砲兵工廠(明治19(1886)年度)と清の江南製造局(1886年)における、大砲と砲弾の製造数の比較。

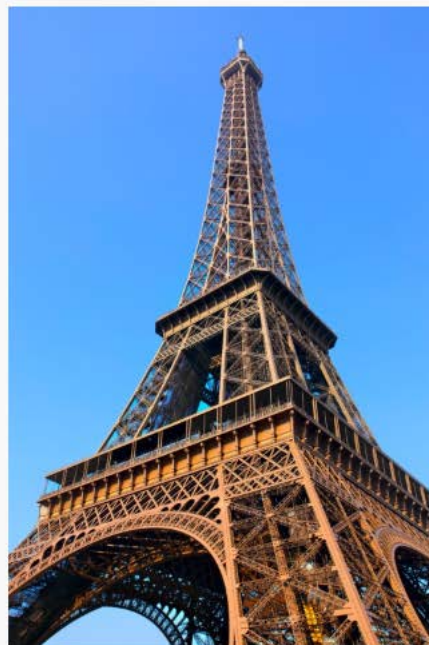


全画面モード

(教科書名入る) p.199

大阪砲兵工廠と江南製造局の比較

YVHA606100



1889年のパリ万国博覧会のために建設された。エッフェル(1832~1923)の設計による斬新なデザインの鉄骨建築で、塔の名称も彼の名前に由来する。鉄の時代を象徴する塔は、高さが324mあり、長いあいた世界一高い建築物であった。

🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.202

エッフェル塔

YWHAS06390

提供元: ユニフォトプレス





列強(日本・ロシア・イギリス・アメリカ・ドイツ・フランス・オーストリア・イタリア)は在留民保護を名目に共同出兵し北京を占領した。『画報』より。

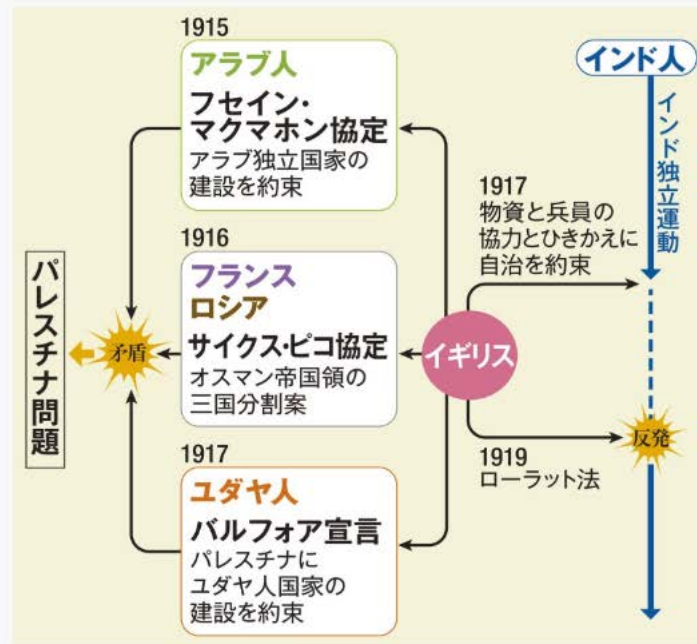


全画面モード

(教科書名入る) p.210

義和団戦争に出兵した8カ国連合軍

YVHA066400
発行所：ユニファクトプレス



PC 全画面モード





ドイツでつくられたヴェルサイユ条約に反対するポスター。左から、領土・人口・石炭生産・穀物生産・鉄鉱石資源など失われるものとその減少率が示されている。また、左下にすべての海外領土を失ったことも示されている。

☒ 全画面モード

(教科書名入る) p.221

「我々が失うもの」

YVHA606600
提供元: ユニオトプレス



フセイン・マクマホン協定
とバルフォア宣言

TEXT
 【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

(テキストファイル / 1.6KB)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.231
フセイン・マクマホン協定とバルフォア宣言
YWH0501300
提供元：歴史学研究会編『世界史史料10』

フセイン・マクマホン協定（抜粋）

イギリスが同盟国であるフランスの利益を損なうことなしに自由に活動できる境界線内にある地域においては、私は英国政府の名の下で次のとおりの保証および貴書簡への返答を与える権限を有しております。すなわち、

- (1) イギリスは一定の修正①を加えて、メッカのシャリーフ〔フセイン〕によって要求されている範囲内すべての地域におけるアラブ人の独立を認め、それを支援する用意がある。
- (2) イギリスは外国からのすべての侵略に対して聖地②を保全し、その不可侵性を承認する。
- (3) 状況が許せば、イギリスはアラブに助言を与え、これらのさまざまな地域におけるもっとも適切と思われる統治形態を設立する援助をおこなう。
- (4) 他方、アラブ側はイギリスだけの助言と指導を仰ぐことを決定し、健全なる統治形態の確立に必要なヨーロッパ人の顧問および官吏はイギリス人であることを承認する。……

①地中海岸の一部の地域はアラブ独立国家から除外されるという修正。②エルサレムのこと。

バルフォア宣言

私は国王陛下の政府を代表いたしまして、ユダヤ人シオニスト諸氏の大望に共感を示す以下の宣言を、閣議の同意を得て貴下にお伝えすることができて非常に悦ばしく思っております。
「国王陛下の政府はパレスチナにおいてユダヤ人のための民族的郷土（National Home）を設立することを好ましいと考えており、この目的の達成を円滑にするために最善の努力をおこなうつもりです。また、パレスチナに現存する非ユダヤ人諸コミュニティの市民および信仰者としての諸権利、ならびに他のあらゆる国でユダヤ人が享受している諸権利および政治的地位が侵害されることは決してなされることはない」と明確に理解されています。」
貴下がこの宣言をシオニスト連盟にお知らせいただけましたならば光栄に存じます。
アーサー＝ジェームズ＝バルフォア



全画面モード

(教科書名入る) p.232

世界恐慌

YWHB200100

解題用：ニュースで見る世界史 第1巻

映像はまず、仕事を失うために並ぶ失業者の長蛇の列を映している。生産の急落や貿易不況は企業の倒産に導き、失業者を増殖させた。この映像は失業者があふれている様子をよく映し出している。配られている紙は、おそらく仕事の朝報(あっせん)だろうが、職を失ふところか配られる紙さえすべての人に行き渡るわけではない。

続いて、アメリカ、カンザスシティの工場ストライキの状況を記録した映像になる。警官隊と衝突する労働者、そして乱闘。アメリカ各地でこのような労働争議が多く発生した。恐慌による会社の倒産、生産の激減は、自由主義経済や政治のあり方を転換させるものとなった。



ドイツ国産車の宣伝ポスター

この車はフォルクスワーゲンという。フォルクスは「国民」、ワーゲンは「車」の意味である。ポスターの「KdF」（歓喜力行団）は、「喜びを通して力を」を意味するドイツ語の略である。KdFは、ナチ党のもとで労働者に旅行などの娯楽を提供する組織であった。ナチ党はヒトラーの国民車構想にもとづき、週5マルクを積み立てた労働者に自動車購入クーポンを与える政策をおこなった。



試 全画面モード

(教科書名入る) p.234

ナチ党のプロパガンダポスター

YVHA606700
提供元：ユニフォトプレス



02:12

会社名掲載


全画面モード

(教科書名入る) p.241

カイロ会談

YWHB200200
資料用：ニュースで見える世界史 第1巻

1943年11月27日、米・英・中3カ国の首脳がエジプトのカイロで会談した。会場となったホテルの中庭で記念撮影がおこなわれ、その時の映像が添えられている。左から中華民国の蒋介石総統、アメリカ大統領ローズヴェルト、イギリス首相チャーチル、そして蒋介石夫人の宋美齡であった。この会談の目的は日本に対する戦争目的および方法についての盟軍の統一で、のちのポツダム宣言のもととなるものである。アメリカを中心とする連合国は、カイロ会談にもとづいて、中国の重慶に拠点を置く蒋介石政権に対して全面的援助をおこなった。映像にあるように、中国兵を訓練し、ブルドーザーを動員してジャングルを切り開いて道路を建設し、空路で物資を援助した。



全画面モード

(教科書名入る) p.244

チャーチルの「鉄のカーテン」演説

YWHB200300

録音元：ニュースで見る世界史 第2巻

映像では最初にチャーチルのステール写真を提示し、その後木学での講演の映像を紹介している。

デーニッツとクランツビューラー のやりとり



【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

[テキストファイル / 1.44KB]



プレビュー 全画面モード

(教科書名入力) p.245

資料5 デーニッツとクランツビューラーのやりとり

YWH0501500
提供元: プエルナー＝マーザー(西農之説)『ニュルンベルク裁判——ナチス戦犯はいかにして裁かれたか』

デーニッツ：

戦争開始とともにすぐ、われわれは次のような経験をしました。すべての商船は停船の際、無電発信をただだけでなく、水平線にUボートが見えると、直ちに無電を発するのです。つまりすべての商船が、軍部の情報機関に組み込まれていたことは実に明白だったのです。さらにわれわれは、戦争勃発後数日して、実際に次の経験をしました。それは商船が武装していて、武器を使うということでした。……

クランツピューラー：

武装商船を撃つという命令、そしてのちには、あらゆる商船を攻撃せよという命令によって海上戦がこんなに激化したのですが、この激化の原因は海戦指導部の自由裁量にあったのですか？ あるいはこれは必然的な発展でしょうか？

デーニッツ：

この発展は……まったく必然的でした。その武器を使用し、無電を発信し、それによって直ちに防衛部隊を呼び寄せるといふことになれば、Uボートは必然的に潜水せざるをえなくなります。無警告攻撃のためであります。同じ必然的発展は、われわれの監視していた海域ではイギリスUボートの場合にも起こりましたし、同じことがアメリカ、ソヴィエトUボートにもびったり当てはまります。

クランツビューラーの意図

TXT
【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

(テキストファイル / 831byte)

🔍 プレビュー 🖥️ 全画面モード

(教科書名入る) p.245
資料6 クランツビューラーの意図
YWH0501600
発行元：ヴォルナー＝マーザー(西書之訳)『ニールンベルク裁判——ナチス戦犯はいかにして真罪を認めたか』

私は決して、アメリカ海軍本部が対日潜水艦戦で国際法を破ったことを証明したくもないし、主張したくありません。逆に私は、アメリカの行動はまったく現行国際法の枠外に出なかったのだという見解をとるものであります。そしてアメリカの対日海戦においてまったく同じ問題だったことが、ドイツの対英海戦であります。……私はニミッツ大將を尋問することによって明らかにしたいのですが、アメリカ海軍本部は、ロンドン協定の実際の解釈において、まったくドイツ海軍本部と同じ行動をとったのです。それで私はこれを、ドイツ海軍指導部が合法的であったという証拠材料とみなしたいのであります。



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.246

中華人民共和国の記念切手

YVHA606800
発行元：ユニフォトプレス



ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体 の発足



【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

(テキストファイル / 746byte)



プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.251

ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の発足

YWH0501700
提供元：歴史学研究会編『世界史史料11』

シューマン=プラン (1950年)

ヨーロッパは一挙に、また単一の構造体としてつくられるわけではありません。ヨーロッパは、まず実態ある連帯を生み出す具体的な成果を積み重ねることにより形成されるのです。ヨーロッパ諸国が1つとなるためには、ドイツとフランスの積年の敵対関係が一掃されることが必要です。フランスとドイツこそが率先して行動を起こすべきなのです。…

フランス政府は、独仏の石炭および鉄鋼の全生産物を共通の高等機関のもとで、ヨーロッパの他の国々が参加する開放的組織に配することを提案いたします。



会社名掲載

全画面モード

(教科書名入る) p.252

ド=ゴール内閣成立

YWH8200400
藤井亮・ニュースで見る世界史 第2巻

映像では「共和国万歳」といったプラカードを掲げて市民が市内を練り歩いている様子をまず取り上げている。つぎにド=ゴール将軍が大統領選挙に勝利したことにより市民が歓喜している様子、ド=ゴール将軍の大統領就任の風景、最後にアルジェリア訪問を取り上げ、ド=ゴール将軍によるアルジェリア問題に端を発する政治危機打開を映している。



建設中の壁をながめる西ベルリンの市民。壁によって東西ベルリン間の往来、とくに東から西への移動はきびしく制限され、壁をこえて西への脱出をはかると、国境警備隊に逮捕あるいは射殺された。



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.253

「ベルリンの壁」の建設

YVWA606900
提供元:ユニフォトプレス



1965年9月6日、日本人報道カメラマン沢田教一が撮影、2組の親子が川を渡って避難する場面を捉えたもので、親子の必死な姿は世界中に衝撃を与えた。沢田は、この写真で翌年のピューリッツァー賞を受賞した。



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.257

ベトナム戦争「安全への逃避」

YWHAG07000
提供元：ユニファクトプレス

キングの演説

 **【プレビュー】 もしくは
【全画面モード】 で
閲覧できます。**

(テキストファイル / 599byte)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.258
キングの演説
YWH0501809
提供元：松本浩監督『アメリカを動かした連敗ーリンカーンからオバマまで』

わたしには夢があります。いつの日か、この国の民が立ち上がり、「われわれは、これらの真理を自明のものとする。すなわち、万人は生まれながらにして平等である」という、この国の信条が真に意味するとおり生きるようになる、という夢が。

わたしには夢があります。いつの日か、ジョージアの赤茶けた丘の上で、かつての奴隷の子孫と、かつての奴隷の主人の子孫とが、兄弟のように仲良く並んでテーブルにつく、という夢が。



米、金・ドル交換を停止

ドル防衛へ政策大転換
輸入に課徴金10%
国際通貨の再調整迫る

IMF体制に最大の危機
事実上のドル切下げ
国際通貨市場の混乱必至

95円の大暴落

賃金・物価、90日凍結
インフレ失業にも対策

（教科書名入る）p.262

ドル=ショックの新聞記事

YVWA607100
発行元：毎日新聞社



反アパルトヘイト運動の指導者として1962年以来27年間収監されていた。アパルトヘイトは1994年に完全廃止となり、同年の全人種参加選挙を経て南アフリカ共和国第9代大統領に就任した。



🖥️ 全画面モード

(教科書名入る) p.267

マンデラ

YVHA607200
提供元:ユニファクトプレス



全画面モード

(教科書名入る) p.274

ヨーロッパ統合の歩み

YWWA607300



アメリカ・イギリス連合軍は2003年3月にイラクへの攻撃を開始し、翌月にはバグダードを攻略した。写真は民衆とアメリカ軍によって引き倒されるフセインの像。



🖥️ 全画面モード

(教科書名入る) p.275

イラク戦争

YWNH6D7400
提供元: ユニファクトプレス

利用規約

本サイトのコンテンツは、教科書または副教材の参考教材として **会社名掲載** (以下当社という) が用意したものです。学校内での授業や自宅学習などの用途以外での利用はご遠慮ください。

著作権について

本サイトおよびリンク先のサイトに掲載されているコンテンツ（文章、写真、図表、画像、音声、映像など）の著作権および著作者人格権は、当社または各コンテンツの権利者に帰属しています。これらのコンテンツの複製、改変、公衆送信（送信可能化を含む。）、上映、頒布（譲渡・貸与）、翻案、翻訳などは、著作権法で認められる場合を除き、当社および各コンテンツの権利者から事前の許諾を得ることなく行うことはできません。また、（許可のない）本サイトへのリンクについてはご遠慮ください。

免責事項

当社は、本サイトの内容に関して、その正確性、および利用者のいかなる利用目的への適合性・妥当性について保証するものではありません。また、当社および他の著作者・制作者は、本サイトに関し、利用者に生じた、損害、損失、請求その他の責任についても一切責任を負いません。

その他

本サイトは、事前に通知することなく、本サービスの内容を変更または終了することがあります。本サイトにおいて外部サイトへのリンクを掲載することがありますが、当社はリンク先の外部サイトの内容等には責任を負いません。

また、本サイトの利用に際してコンテンツ使用料は発生しませんが、通信料がかかります。

本サイトを利用することで、上記について確認し同意したものとみなします。

会社名掲載

コピーライト掲載

The slide features a central white box with a blue header bar at the top. Inside the box, the text is arranged as follows: an orange semi-circle containing the word '探究しよう' (Let's explore), followed by the question 'ハンムラビ法典は何を定めたのだろうか' (What did the Code of Hammurabi define?), and a large blue box containing the title 'ハンムラビ法典碑' (Code of Hammurabi Stele). Navigation arrows are present on the left and right sides of the central box. A small blue icon is located in the bottom right corner of the slide area.

探究しよう

ハンムラビ法典は何を定めたのだろうか

ハンムラビ法典碑

全画面モード

(教科書名入る) p.31

探究しよう ハンムラビ法典は何を定めたのだろうか

YVWA600100
提供元：ユニファクトプレス



石碑にはバビロン第1王朝のハンムラビ王が制定した法典が楔形文字で刻まれている。1902年、フランスの探査隊がスサで発見した。高さ2.25m、直径0.6m。



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.31


探究しよう ハムラビ法典は何を定めたのだろうか

YWHAG001BQ
提供元：ユニファクトプレス

探究しよう

唐の女性はどのような生活をしていただろうか

杜甫「哀江頭」

TXT  【プレビュー】もしくは【全画面モード】で閲覧できます。

杜甫が、人々の避衆の地となっていた長安城の東南の曲江で残した作品。亡くなった楊貴妃の華やかさを思い出しつつ、安史の乱で変わり果てた長安の姿を嘆き、世の無常を哀しんでいる。この場面では、宮中の女官達が扇に乗り矢を放っている様子が残されている。

[テキストファイル / 1.38KB]

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.54

探究しよう 唐の女性はどのような生活をしていただろうか

YWH0500100
資料元：原川洋一注『中国詩人選集10 杜甫 下』

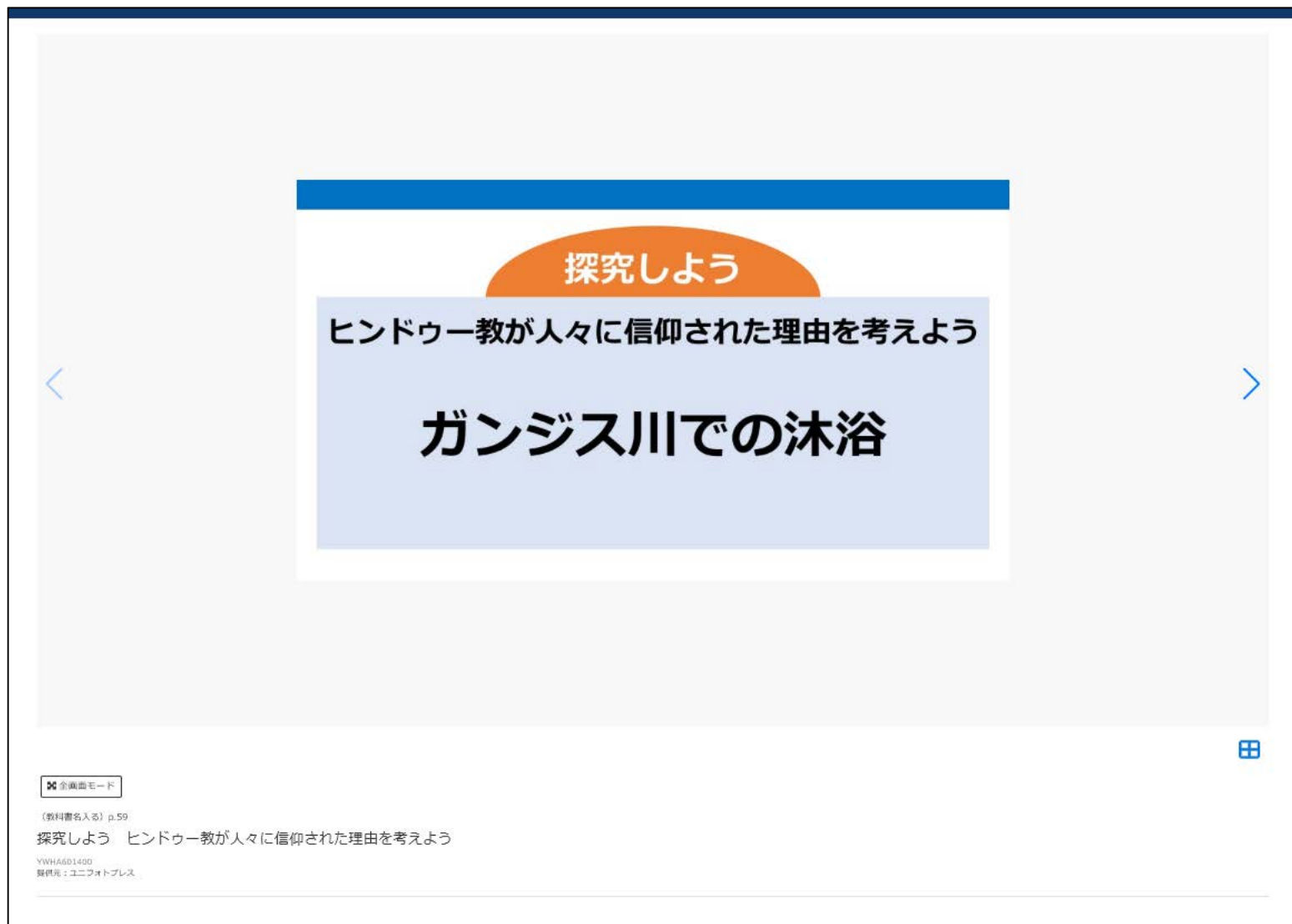
探究しよう 唐の女性はどのような生活をしていたのだろうか

[元の画面に戻る](#)

昭陽殿裏第一人
 同輩隨君侍君側
 筆前才人持弓箭
 白馬嚼齧黃金勒
 翻身天上去飛雲
 一笑正墜雙飛翼
 明眸皓齒今何在

昭陽殿裏（しょうようでんり）第一人
 輩（れん）を同じくし君に隨（したが）い君側（くんそく）に侍す
 筆前（れんせん）の才人は弓箭（きゅうせん）を帯び
 白馬は嚼齧（しゃくげつ）す 黄金の勒（くつわ）
 身を翻（ひるが）えし天に向かいて仰いで雲を射れば
 一笑（いっしょう）正に墜つ 双飛（そうひ）の翼
 明眸（めいぼう）皓齒（こうし）今は何（いず）ここにか在る

昭陽殿の中における君寵（くんちやう）第一人のお方（楊貴妃（ようきひ））は、天子と一つお車に召し、天子におとををし、天子のおそばに侍（はべ）っておられた。お車のさきばらいの女官たちは弓と矢とを腰にたばさみ、その真っ白な馬はこがねのくつわをかみくだいていた。彼女たちが身をひるがえし、天にむかってふりあおいで雲まに矢を放つと貴妃さまのにつっこりされる御前に、ねらいたがわず夫婦鳥が射落とされてくるのであった。ああ、その明るいひとみ、白い歯のお方はいまだここにおられるのであるか。



This is an interactive learning card with a light gray background. At the top, there is a blue horizontal bar. Below it, an orange semi-circle contains the text "探究しよう" (Let's explore). Underneath, a light blue rectangular box contains the text "ヒンドゥー教が人々に信仰された理由を考えよう" (Let's think about the reasons why Hinduism was believed by people) and "ガンジス川での沐浴" (Bathing in the Ganges River). Navigation arrows are on the left and right sides. A small blue icon is in the bottom right corner. The footer contains a "全画面モード" (Full screen mode) button, a page reference "(教科書名入る) p.59", the title "探究しよう ヒンドゥー教が人々に信仰された理由を考えよう", the code "YHHA601400", and the publisher "提供元：ユニフォトプレス".

探究しよう

ヒンドゥー教が人々に信仰された理由を考えよう

ガンジス川での沐浴

全画面モード

(教科書名入る) p.59

探究しよう ヒンドゥー教が人々に信仰された理由を考えよう

YHHA601400
提供元：ユニフォトプレス



ヒンドゥー教徒にとって、ガンジス川は聖なる川である。この川の水を浴びることで、教徒は清浄な身体になると信じられている。

🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.59

探究しよう ヒンドゥー教が人々に信仰された理由を考えよう

YVHA601400
提供元：ユニフォトプレス

探究しよう

ローマの建築物は、帝国の支配にとって、
どのような役割をもったのだろうか

最高神祇官の姿のアウグストゥス像

全画面モード

(教科書名入る) p.74

探究しよう ローマの建築物は、帝国の支配にとって、どのような役割をもったのだろうか

YWH1A602000
提供元：ユニファクトプレス



最高神祇官(Pontifex Maximus)の姿をした皇帝アウグストゥス像。紀元前12年以降の制作。ローマ皇帝が宗教上の最高指導者でもあったことを示す。ローマ市民の正装であるトガを纏っている。

🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) p.74

探究しよう ローマの建築物は、帝国の支配にとって、どのような役割をもったのだろうか

YVHA602000
提供元：アフロ

探究しよう

西ヨーロッパ各国で、
国王の権威はどのように変化したのだろうか

マグナ=カルタの条文

TXT  【プレビュー】もしくは
【全画面モード】で
閲覧できます。

(デキストファイル / 2.5KB) 

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.109
探究しよう 西ヨーロッパ各国で、国王の権威はどのように変化したのだろうか
YWH0500500
提供元：江上渡夫監修『新説世界史史料・名篇集』

大憲章（マグナ=カルタ）

第1条 まず第一に、朕は、イングランドの教会は自由であり、その権利を減ずることなく、その自由をおかされることなく有すべきことを、神に容認し、この朕の特権状によって、朕および朕の後継者のために永久に確認した。……

第12条 いかなる軍役免除金①も、王国全体の協議によるものでなければ、朕の王国において課せられるべきではない。ただし、朕の身体を請け戻し③、朕の長子を騎士に叙し④、朕の長女を一度結婚せしめる場合は除かれる。そしてこれらについても正当な御用金のみが課せられるべきである。またこのことはロンドン市からの御用金についてもあてはまるべきである。

第13条 またロンドン市は、すべてのその古来の特権と、水路陸路を問わず自由な関税とを有すべきである。さらに朕はすべてのほかの都市、市邑、町、港がすべてその特権と自由な関税とを有すべきことを望み、また認可する。

第16条 いかなる自由人も、騎士の封、またほかのいかなる自由な封の保有についても、その封に付帯する以上の奉仕をおこなうことを強制されることはない⑤。

第39条 いかなる自由人も、彼と同輩の者の判決によるか、または国法による以外には、逮捕され、監禁され、また自由を奪われ、また法の保護下におかれ、また追放することはなく、彼に対して軍勢を派遣することはない。

第40条 朕はいかなる者に対しても正義と司法とを売らず、またいかなる者に対しても正義と司法とを拒否し遅延せしめることはない。

【注】

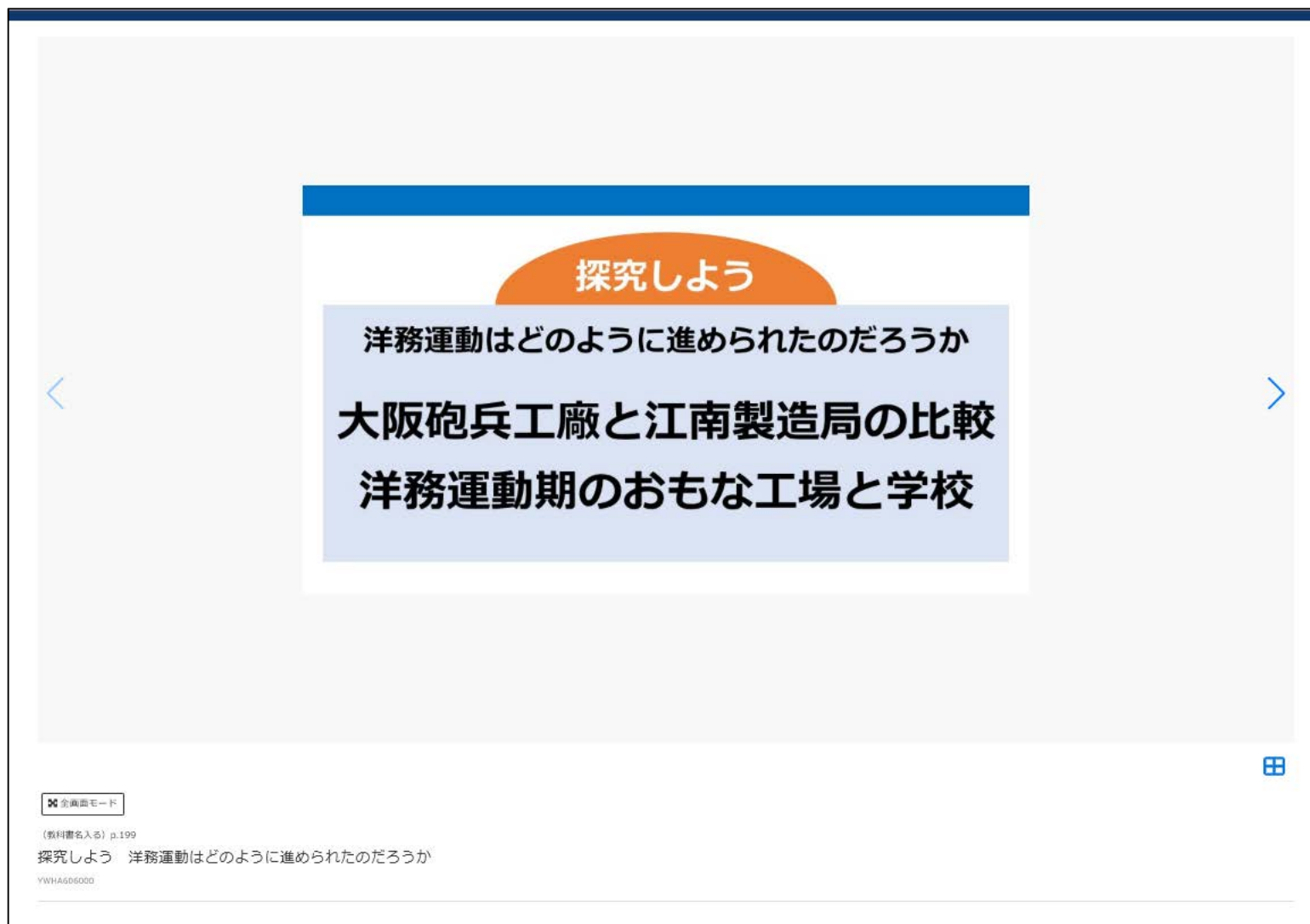
①主にしたがって戦いにおもむく代わりに出す金。

②主に対する臨時の献金。

③主が捕虜になった際、身代金を払うため金が必要な場合を指す。

④主の長子が騎士叙任の式をあげるのに資金が必要な場合を指す。

⑤封建家臣は主君から封（封土、知行）を与えられる代わりに、軍役のほか種々の奉仕（御用金を出したり、主君のひらく法廷に出席する等）をなすべきことが慣習的に定まっていたのであるが、この条は、王がそれ以上の義務を強制しないという意味。



探究しよう

洋務運動はどのように進められたのだろうか

大阪砲兵工廠と江南製造局の比較

洋務運動期のおもな工場と学校

全画面モード

(教科書名入る) p.199

探究しよう 洋務運動はどのように進められたのだろうか

YVHA606000

	大砲(単位:門)	砲弾(単位:発)
大阪砲兵工廠	109	80,642
江南製造局	7	12,080

(三宅宏『大阪砲兵工廠の研究』、トーマス・L・ケネディ〈細見和弘訳〉『中国軍事工業の近代化——太平天国の乱から日清戦争まで』より作成)

大阪砲兵工廠と江南製造局の比較

日本の大阪砲兵工廠(明治19(1886)年度)と清の江南製造局(1896年)における、大砲と砲弾の製造数の比較。

🖨️ 全画面モード

(教科書名入力) p.199


探究しよう 洋務運動はどのように進められたのだろうか

YVHA606000

探究しよう

ニュルンベルク国際軍事裁判では何が裁かれたのだろうか

資料 5 デーニッツとクランツビューラーのやりとり

資料 6 クランツビューラーの意図 

【プレビュー】もしくは【全画面モード】で閲覧できます。

(テキストファイル / 2.29KB)

プレビュー 全画面モード

(教科書名入る) p.245

探究しよう ニュルンベルク国際軍事裁判では何が裁かれたのだろうか

YWH0501400
発行元：ヴェルナー・エマージェー(西義之助)『ニュルンベルク裁判——ナチス戦犯はいかにして裁かれたか』

資料5 デーニッツと弁護人クランツビューラーのやりとり

デーニッツ：

戦争開始とともにすぐ、われわれは次のような経験をしました。すべての商船は停船の際、無電発信をやっただけでなく、水平線にUボートが見えると、直ちに無電を発するのです。つまりすべての商船が、軍部の情報機関に組み込まれていたことは実に明白だったのです。さらにわれわれは、戦争勃発後数日して、実際に次の経験をしました。それは商船が武装していて、武器を使うということでした。……

クランツビューラー：

武装商船を撃つという命令、そしてのちには、あらゆる商船を攻撃せよという命令によって海上戦がこんなに激化したのですが、この激化の原因は海戦指導部の自由裁量にあったのですか？ あるいはこれは必然的な発展でしょうか？

デーニッツ：

この発展は……まったく必然的でした。その武器を使用し、無電を発信し、それによって直ちに防衛部隊を呼び寄せるといふことになれば、Uボートは必然的に潜水せざるをえなくなります。無警告攻撃のためであります。同じ必然的発展は、われわれの監視していた海域ではイギリスUボートの場合にも起こりましたし、同じことがアメリカ、ソヴィエトUボートにもびったり当てはまります。

資料6 クランツビューラーの意図

私は決して、アメリカ海軍本部が対日潜水艦戦で国際法を破ったことを証明したくもないし、主張したくありません。逆に私は、アメリカの行動はまったく現行国際法の枠外に出なかったのだという見解をとるものであります。そしてアメリカの対日海戦においてまったく同じ問題だったことが、ドイツの対英海戦であります。……私はデーニッツ大将を尋問することによって明らかにしたいのですが、アメリカ海軍本部は、ロンドン協定の実際の解釈において、まったくドイツ海軍本部と同じ行動をとったのです。それで私はこれを、ドイツ海軍指導部が合法的であったという証拠材料とみなしたいのであります。